

平成29年度

佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略

～若い世代の希望をかなえ 選ばれるまちを目指して～

評価報告書

平成30年5月

佐久市

目次

「佐久市人口ビジョン」の概要	1
「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要	2
「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価について	3
数値目標・重要業績評価指標（K P I）の評価	
基本目標①	
安心して働き続けることができる佐久市における「しごと」の創生	5
基本目標②	
多くの人に選ばれることができる佐久市における「ひと」の創生	14
基本目標③	
安心して結婚し、子どもを生き育てることができる佐久市における「ひと」の創生	21
基本目標④	
安心して暮らし続けることができる佐久市における「まち」の創生	33
地方創生関係交付金事業の実施結果	41

「佐久市人口ビジョン」の概要（H27.10 策定）

人口ビジョンの位置付け及び対象期間

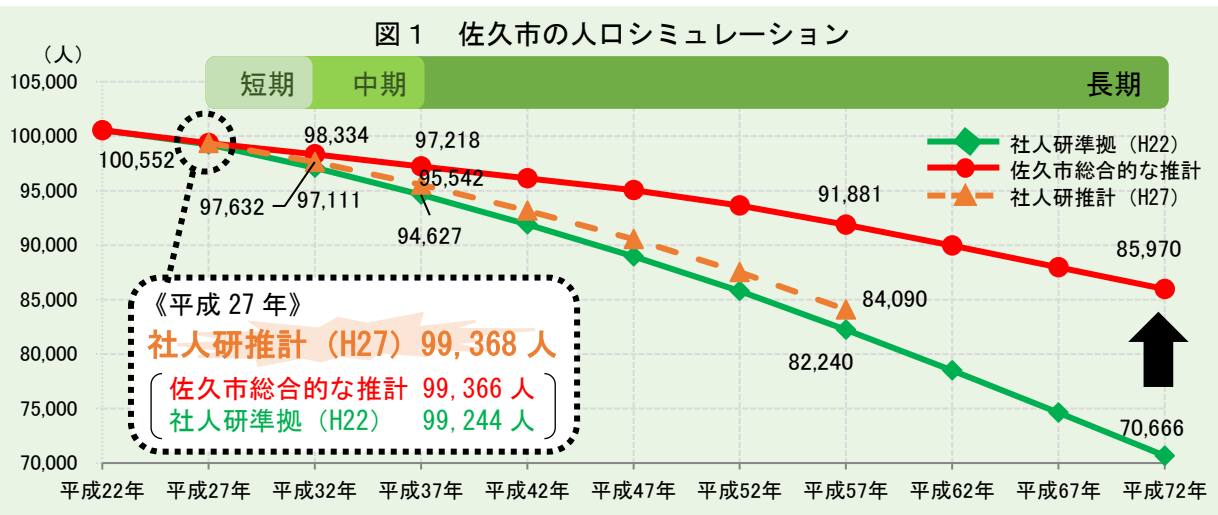
- 1 本市における人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するもの
- 2 本市のまち・ひと・しごと創生の実現に向けて効果的な施策の企画・立案をする上での重要な基礎
- 3 対象期間は、平成 27(2015)～平成 72(2060)年度

人口の現状及び将来推計

- 1 本市の総人口は、平成 22 年をピークに減少に転じ、平成 26 年 10 月 1 日現在の県人口異動調査では**約 99,600 人**
- 2 合計特殊出生率は、全国や県よりは高いが、ほぼ横ばいの状態が続いており、平成 26 年は **1.59**
- 3 社会動態を平成 22 年から平成 26 年の 5 年間の平均で見ると、**100 人/年の社会増**
- 4 国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)の推計に準拠した推計では、今後、平成 52 年には人口は **86,000 人**を下回り、平成 72 年には **71,000 人**を下回る

人口の将来展望

- 1 市民アンケート結果による「理想とする子どもの数」の平均は 2.44 人であり、一定の施策を講じることにより、平成 47 年に合計特殊出生率 **2.07** を実現（国より 5 年早く実現）
- 2 現在の 100 人/年の人口の社会増を、平成 27～32 年までは倍の **200 人/年の社会増**とする
- 3 合計特殊出生率の改善による人口の自然増と移住促進等による社会増のさらなる増加により、平成 72 年の人口 **85,970 人**を長期的な展望とする（社人研推計より約 15,000 人増）



佐久市の基本的な姿勢

- ☞若い世代の希望をかなえることにより、合計特殊出生率の上昇を目指す
- ☞各年齢階層にあった転入促進、転出抑制による人口の社会増を目指す

人口 10 万人を目指す

「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要（H30.3 改定）

基本的な考え方

- 1 佐久市における人口減少と地域経済の縮小の悪循環を断ち切る
- 2 佐久市におけるまち・ひと・しごと創生と好循環を確立する

総合戦略の位置付け

人口ビジョンで描く将来展望を踏まえ、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたもの

施策の企画・実行に当たっての基本方針

- 1 市民の暮らしを守り、研ぎ澄ます身近な施策
- 2 佐久市の特色や地域資源を生かした施策
- 3 地域の強みや特徴を生かした施策
- 4 高速交通網を生かした施策
- 5 地域間の連携を生かした施策

基本目標

佐久市におけるまち・ひと・しごとの創生に向け、佐久市人口ビジョンを踏まえ、以下の 4 つの基本目標を設定

① 安定して働き続けることができる佐久市における「しごと」の創生

【数値目標】

・市内事業所の従業者数
40,203 人 (H26)
⇒41,100 人 (H31)

② 多くの人に選ばれることができる佐久市における「ひと」の創生

【数値目標】

・人口の社会増
－ (H26)
⇒1,000 人 (H31)

③ 安心して結婚し、子どもを育てることができる佐久市における「ひと」の創生

【数値目標】

・合計特殊出生率
1.59 (H26)
⇒1.69 (H31)

④ 安心して暮らし続けることができる佐久市における「まち」の創生

【数値目標】

・「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合
75.1% (H26) ⇒80% (H31)

若い世代の希望をかなえ、選ばれるまちを実現するための新たな取組

若い世代の希望をかなえ、選ばれるまちを実現するため、本戦略に位置付けて新たに実施する主な取組として、以下の取組を推進

佐久市における雇用の安定と仕事づくり	選ばれる佐久市を目指した新しい人の流れづくり	若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現	生きがいをもち、心豊かに暮らすことができるまちの実現
<ul style="list-style-type: none"> ● 市内既存企業の工場建設及び生産設備導入への経費補助 ● 新製品・新技術の研究開発や創業の支援 ● 保健医療分野における視察研修の受入拡大と国際展開 ● 健康長寿を生かした産業の活性化とまちづくりの推進 など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 佐久市における生涯活躍のまちの構築 ● 新たな工業団地の整備 ● 無料職業紹介事業(地方版ハローワーク)の実施 ● インターンシップに参加する学生に対する補助 ● 佐久市奨学金の償還の一部免除 など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育料の負担軽減 ● 子ども福祉医療費給付金支給対象年齢の拡大 ● 妊産婦に対する医療費の助成 ● 未婚の若者を対象とした恋愛・結婚・子育てに関するイベント等の開催 など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 佐久平駅南土地区画整理事業への支援 ● 中心市街地活性化基本計画の策定

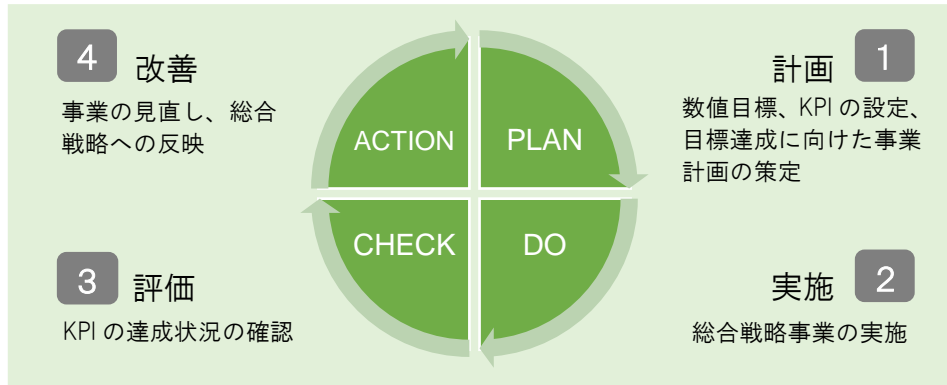
「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価について

1 趣旨

まち・ひと・しごと創生法の施行を受け、市では平成 27 年度に「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略～若い世代の希望をかなえ 選ばれるまちを目指して～(以下「総合戦略」という。)」を策定しました。

総合戦略に基づく事業を着実に推進するため、PDCAサイクルを確立することが必要とされていることから、その進捗について評価し、今後の施策や事業の改善に活用します。

数値目標および重要業績評価指標(KPI)の進捗状況を客観的に把握し、外部の視点も含めて評価を行い、その結果を市民の皆さんに公表します。



2 総合戦略の進捗状況

総合戦略の平成 29 年度の施策に係る数値目標および重要業績評価指標(KPI)の進捗状況の概要は、下記のとおりです。

(1) 進捗管理の方法

実績値が基準値からどの程度進展したかを、目安値と比較して進捗率を計算し、次のとおり評価しています。

順調	概ね順調	努力を要する	未公表	実績値なし
目安値以上	80%以上 100%未満の進捗	80%未満の進捗	統計調査結果が未公表のため、現時点では実績値が把握できない	・統計調査の実施がなく、今後も実績値が把握できない ・目安値・実績値がともに0の場合

※目安値:平成 31 年度の目標達成に向けて、指標が順調に推移しているかどうかの目安を表す値。

多くの目標において、基準値から目標値に向かって均等に推移することを標準パターンとしています。

ただし、均等な推移が見込めない等これによりがたい場合は、その指標の特性を踏まえて目安値を設定しています。

※進捗率=(実績値-基準値)/(目安値-基準値)で算出

(2) 数値目標の進捗状況

4つの基本目標における数値目標について、計画達成年度(平成 31 年度)の目標達成に向けた進捗状況を評価した結果、下記のとおりとなりました。

数値目標	目安値	実績値	進捗区分
基本目標① 安心して働き続けることができる 佐久市における「しごと」の創生			
市内事業所の従業者数 【H26】40,203人 ⇒ 【H31】41,100人	— (H29)	—	実績値なし <small>※経済センサス未実施のため</small>

数値目標	目安値	実績値	進捗区分
基本目標② 多くの人に選ばれることができる 佐久市における「しごと」の創生			
人口の社会増（計画期間の累計） － ⇒ 【H31】 1,000 人	600 人 (H29)	656 人	順調
基本目標③ 安心して結婚し、子どもを生き育てることができる 佐久市における「ひと」の創生			
合計特殊出生率 【H26】 1.59 ⇒ 【H31】 1.69	1.65 (H29)	－	未公表 ※H30.10 公表予定
基本目標④ 安心して暮らし続けることができる 佐久市における「まち」の創生			
「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合 【H26】 75.1% ⇒ 【H31】 80.0%	－ (H29)	－	実績値なし ※調査が隔年実施のため

(3) 重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

64 のKPIについて、計画達成年度(平成 31 年度)の目標達成に向けた進捗状況を評価した結果、下記のとおりとなりました。

【平成 29 年度分】

基本目標	順調	概ね順調	努力を要する	未公表	実績値なし	その他	計 (%)
1	6 (40.0)	0 (0.0)	4 (26.7)	4 (26.7)	1 (6.6)	0 (0.0)	15 (100.0)
2	2 (18.2)	0 (0.0)	5 (45.4)	1 (9.1)	2 (18.2)	1 (9.1)	11 (100.0)
3	9 (42.8)	1 (4.8)	8 (38.1)	0 (0.0)	3 (14.3)	0 (0.0)	21 (100.0)
4	3 (17.6)	2 (11.8)	2 (11.8)	2 (11.8)	7 (41.1)	1 (5.9)	17 (100.0)
計 (%)	20 (31.3)	3 (4.7)	19 (29.7)	7 (10.9)	13 (20.3)	2 (3.1)	64 (100.0)

※ () 内は構成比。

※ 「その他」は事業開始前のため、目安値の設定がなされていないものを集計しています。

★主な成果について

総合戦略に記載されている「具体的な取組」について、平成 29 年度の取組内容と主な成果について記載してあります。

基本目標① 安心して働き続けることができる佐久市における「しごと」の創生

基本目標の考え方	市民が安心して暮らしていくためには、仕事があり、経済的に安定していることが重要であるため、まず、仕事の創出・雇用の創出に取り組みます。
-----------------	---

数値目標の進捗状況								
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
市内事業所の従業者数 【経済センサス】	目安値	—	—	40,560	—	40,920	41,100	人
	実績値	40,203	—	40,369	—			
	進捗区分	—	実績値なし	努力を要する	実績値なし			
総合分析	<p>基本目標①の数値目標は国の基幹統計調査に基づき設定しています。平成29年度は経済センサスの調査が行われていないため、実績値を把握することができないことから、「実績値なし」となります。</p> <p>「市内事業所の従業者数」は、H28における目安値を下回ったものの、基準値(H26)の40,203人から166人増加しており、企業誘致や企業の経営基盤強化による雇用の確保など、安心して暮らしを支えるための「しごと」の確保に向けた取組を引き続き推進することが必要です。</p> <p>H28実績値を産業大分類別にみると、「製造業」が9,062人(全産業の22.5%)と最も多く、次いで「卸売業、小売業」が7,741人(同19.2%)、「医療、福祉」が6,819人(同16.9%)となっており、上位3産業で全体の5割以上を占めています。</p> <p>なお、基準値(H26)と産業別の比較をみると、「建設業」△260人、「卸売業、小売業」△257人、「製造業」△252人の順で減少数が多くなっている一方、「医療、福祉」は920人増となっており、「医療、福祉」分野の従業者数が大きく増加しています。佐久市経済の持続的な発展のために、減少傾向が見られる分野の現状の打開を図るとともに、本市の強みである「健康長寿」を生かした産業への支援により、しごとの創出の加速化を図ることが重要と考えます。</p> <p>基本目標に係る重要業績評価指標(KPI)は、15項目のうち、H29では、「順調」が4項目、「努力を要する」が6項目となりました。</p> <p>※H28実績値は、H28経済センサス活動調査の速報結果により記載しています。</p>							
今後の方針	<p>「努力を要する」となったKPIは、「ヘルスケア関連産業における新製品・新技術の開発件数」などでした。視察研修の受入人数については、現在、保健・医療のつばさ事業において、医療機関、学術機関と連携した視察受入を実施していますが、受入プログラムの見直し、充実を図ることにより視察者の滞在日数は延びており、延べ人数は大幅増となっています。平成30年度からは、新たに歩行に着目した新しい健康づくり事業を実施し、「健康長寿」の更なる磨き上げを図り、国内外への健康長寿ブランドの発信に努めます。ヘルスケア関連産業における新製品・新技術の開発に当たっては、平成29年度末に、研究開発や創業支援を行う「佐久産業支援センター」を商工団体との連携により設立し、佐久市の強みである「健康長寿」を生かした産業の活性化に向け、平成30年度より活動を開始しました。</p> <p>医療・福祉分野のほかにも、農村グリーンツーリズムに取り組む者に対する農家民宿の改修に対する支援や創錬の森(県立武道館等)の整備・活用、内山地区における観光拠点の整備、佐久市シティプロモーション事業等の平成30年度からの新たな取組の実施により、農林水産業分野や観光分野等における交流人口の創出と地域経済の活性化を図り、それらの波及効果により地域産業の雇用創出力の向上を目指します。</p>							

(1) 地域産業の競争力強化

ア 市内企業の成長の支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別評価	H25 (基準値)	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
製造品出荷額 【工業統計調査】	目安値		(1,937)	1,943	1,949	1,955	1,961	1,970	億円/年
	実績値	1,931	(1,951)	1,934	2,039	—			
	進捗区分		(順調)	努力を要する	順調	未公表			
進捗状況の分析	H27実績値の主な減要因は、業種により増減にばらつきが見られますが、電気機械器具製造業における大幅な減(約162億円減)によるものです。その他増減額が大きい業種は、生産用機械器具製造業の約108億円増、食料品製造業の約50億円増などです。 出典先について、H28経済センサス実施によりH27工業統計調査中止のため、H27実績値はH28経済センサスによります。H28実績値は、平成29年6月1日に実施したH29工業統計調査で把握(調査日を12/31から6/1に変更したため)、現状の数値は速報値です。H29実績値については、H30の工業統計調査が未実施のため現時点では「未公表」となります。								
今後の方針	引き続き各種施策の推進により、製造品出荷額の増加を図ります。								
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
空き店舗対策事業を活用した創業件数(計画期間の累計) 【商工振興課調】	目安値		5	10	15	20	25	件	
	実績値	—	8	15	20				
	進捗区分		順調	順調	順調				
進捗状況の分析	空き店舗を活用した出店に係る改修費及び家賃の補助が、創業の後押しにつながっていると考えられます。								
今後の方針	引き続き事業の周知を図ることにより、創業件数の増加を図ります。								

主な成果

- 市内既存企業の工場建設及び生産設備導入への経費の補助
 - 平成29年度実績 平成29年度から補助金の交付を開始した件数:6件
(平成28年度実績 平成28年度から補助金の交付を開始した件数:2件)
- 企業間連携による新製品及び新技術の共同開発への補助
 - 平成29年度実績 補助件数:4件
(平成28年度実績 補助件数:4件)
- 製造業事業者に対する経営・技術・知的財産に関する相談支援事業の実施
 - 平成29年度実績 活動件数:延539回
(平成28年度実績 活動件数:延396回)
- 市内企業経営や技術向上、品質管理等に関する助言者の派遣
 - 平成29年度実績 活動件数:延309回
(平成28年度実績 活動件数:延316回)
- 新製品・新技術の研究開発や創業の支援
 - ・平成29年度末に新製品・新技術の研究開発や創業の支援を行う「佐久産業支援センター」を商工団体との連携により設立
- 商店街等の空き店舗を活用した創業経費への補助
 - ・空き店舗を賃貸して出店する際の改修費及び賃借料を対象として補助金を交付
平成29年度実績 新規出店件数:6件(うち創業5件)
(平成28年度実績 新規出店件数:10件(うち創業7件))
- 中小企業の展示会への出展に係る経費への補助
 - 平成29年度実績 補助件数:3件
(平成28年度実績 補助件数:6件)

イ 農林水産業の生産性向上とブランド化の推進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
農業法人数 【農政課調】	目安値		23	24	25	26	27	法人	
	実績値	21	23	24	25				
	進捗区分		順調	順調	順調				
	進捗状況の分析	営農相談等を通じた法人化の支援により、着実に農業法人数は増加しています。							
今後の方針	引き続き支援を継続し、農業法人数の増加に努めます。								
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
認定農業者の年間農業所得総額 【農政課調】	目安値		1,800	1,850	1,900	1,950	2,000	百万円/年	
	実績値	1,788	1,797	1,660	1,790				
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する				
	進捗状況の分析	大規模農業者の認定期間が終了したこと等により所得総額が一時減少したものの、期間が満了した者を対象に、認定の取得によるメリットの周知を行い、再度の認定を促しているため、今後所得総額も増加していくと見込まれます。 【参考:認定農業者数の推移】 H26:240人 H27:291人 H28:309人 H29:307人							
今後の方針	各種支援策により、引き続き認定農業者に対する経営規模拡大を図ります。また、認定農業者の取得によるメリットの周知を徹底します。								
指標名	年度別評価	H25 (基準値)	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
素材生産量 【耕地林務課調】 ※利用可能な木材の伐採量	目安値		(5.8千)	6.1千	6.4千	6.7千	7.1千	7.5千	m³/年
	実績値	5.5千	(8.9千)	10.0千	11.5千	10.8千			
	進捗区分		(順調)	順調	順調	順調			
	進捗状況の分析	国産材の利用促進が高まる中で、加工製品について需要があるカラマツ材の素材生産が一時的に増加しています。							
今後の方針	成熟期を迎えつつある森林を搬出間伐、主伐を行い、素材生産量の増加に努めます。								

主な成果

●新品目野菜等の消費拡大

- ・新品目野菜等の地元消費拡大や市内産農産物のPRを実施

平成29年度実績 イベント等における農産物PRの開催:11回、料理研究者によるセミナー開催:2回、首都圏農産物トップセールス:1回

(平成28年度実績 イベント等における農産物PRの開催:4回、料理研究者によるセミナー開催:1回、関西圏農産物トップセールス:1回)

●佐久市望月土づくりセンターにおける良質な堆肥生産の推進

平成29年度実績 生産量 3,232t 販売額 9,266千円

(平成28年度実績 生産量 3,580t 販売額 8,912千円)

●佐久市堆肥生産センターにおける良質な堆肥生産の推進

平成29年度実績 生産量 266t 販売額 1,943千円

(平成28年度実績 生産量 265t 販売額 1,865千円)

●農産物の新たな佐久市ブランド育成のための導入試験及び農業者への普及促進

- ・新品目の農作物や新たな農業技術について、市の気候等への適合や経済性について試験し、農業者へ普及

平成29年度実績 冬期間にビニールハウスでの葉物野菜栽培の実施

佐久古太きゅうりが「信州の伝統野菜」の伝承地栽培に認定

(平成28年度実績 「カモミール研究会」による出荷量が増加)

「佐久古太きゅうり保存会」が農業者により発足）

●市内果樹産地の活性化

・市内の果樹産地の活性化のため、各種支援策を実施

平成29年度実績 果樹アシスタント講習の開催数、受講者数：12回、6人
 ワイン用ブドウ栽培試験に取り組んだ農業者：1人

(平成28年度実績 果樹アシスタント講習の開催数、受講者数：18回、8人
 プルーンジョイント栽培に取り組んだ農業者：1人
 ワイン用ブドウ栽培試験に取り組んだ農業者：1人)

●佐久市産日本酒のブランド化のための酒米作付支援

・佐久市産酒米を使った日本酒の生産拡大を図るため、酒米作付等を支援

平成29年度実績 長野県産育種品種「信交酒545号、549号」の試験栽培及び醸造試験
 栽培期間中の現地検討会の実施

(平成28年度実績 長野県産育種品種「信交酒549号」の試験栽培及び醸造試験
 栽培期間中の現地での検討会、醸造試験後の成分分析及び試験醸造酒の試飲会の開催)

●佐久鯉及び水田鮒の生産振興

平成29年度実績 水田鮒養殖技術研修の開催数、受講者数：10回、3人
 小鮒セミナー＆水田鮒水揚げ見学会の実施 参加者40名

●用排水路等の農業生産基盤の改良・補修

・老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための改良・補修を実施

高呂原水路工事の実施、土地改良区等への改修事業負担金の支出

●搬出間伐、主伐による素材生産量実績

・適切な森林管理により森林を育成、搬出間伐や主伐による素材生産を促進

平成29年度実績 搬出間伐3.7千m³ 主伐7.1千m³ 計10.8千m³

(平成28年度実績 搬出間伐3.8千m³ 主伐7.7千m³ 計11.5千m³)

●公有林を対象とした森林認証の取得

・信州カラマツのブランド化を推進などを推進するため、佐久地域の公有林を対象としたFMグループ認証(森林管理)を平成29年7月に取得

●林道田口十石峠線の開設支援

・森林整備の促進を図るため、県が実施する林道田口十石峠線の開設に対し、負担金を支出

平成29年度実績 施工延長100m 事業費32,076千円

(平成28年度実績 施工延長 70m 事業費41,202千円)

●林道の計画的な維持管理

・林道大河原線をはじめとする市内林道の計画的な維持管理や改良を実施

* 林道大河原線 舗装改良工事の実施状況

平成29年度実績 施工延長275m 事業費25,056千円

(平成28年度実績 施工延長326m 事業費27,540千円)

ウ 地域資源を活用した観光・交流の促進

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
観光客入込数 【観光交流推進課調】 ※1月～12月の暦年集計	目安値		1,600	1,650	1,700	1,750	1,900	千人/年
	実績値	1,514	1,567	1,482	—			
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	未公表			
進捗状況の分析	H29は平尾温泉みはらしの湯の開業等により、観光客の増加が見込まれます。 ※H29実績値はH30.8月頃に把握が可能となるため、現時点では「未公表」となります。							
今後の方針	引き続き関係機関等と連携を図り誘客に向けたPRを進め、入込数の増加を図ります。							

指標名	年度別 評価	— (基準値)	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿国数(計画期間の累計) 【体育課調】	目安値		—	—	1	国	
	実績値	—	—				
	進捗区分		実績値なし				
進捗状況の分析	目標値の達成を目指し、現在、大使館訪問や視察受入れ、国や県、関係機関との連携・情報共有による誘致活動を進めているため、「実績値なし」となります。						
今後の方針	合宿地決定権者との直接交渉を実現させるとともに、あらゆる機会を誘致活動に結びつけ、計画期間内での目標達成を推進します。						

主な成果

●道の駅「ヘルシーテラス佐久南」の整備

・道路利用者の休憩機能や農業をはじめとする地域産業の活性化のための拠点となる「ヘルシーテラス佐久南」が平成29年7月に完成

●ヒルクライム佐久大会の開催

・自転車イベント「ヒルクライム」を平成27年度から開催。新たな誘客イベントとして定着を図る。

*出走者の状況

平成29年度実績 392名

(平成28年度実績 398名)

●佐久総合運動公園の整備

平成29年度実績 野球場建設(H28～H30)

●佐久地域観光戦略会議の仕組みを活用した広域観光の推進

・佐久地域の市町村、関係団体と連携し、観光資源を生かしたイベント等で佐久地域の魅力を発信

*活動の状況

平成29年度実績 4回開催

(平成28年度実績 2回開催)

●エストニア共和国ホスタウン交流事業の開催

・市内3か所でエストニアの食品や民芸品などを紹介、販売するエストニアウィークを開催(H30.2.24-3.2)

・エストニア人のミュージシャンによるミニコンサートや、エストニアの子どもたちと佐久市民による日本文化体験を通じた交流を開催(H29.10)

●東京オリンピック・パラリンピック競技大会の競技関係者への事前合宿誘致活動の実施

・エストニアオリンピック委員会副事務総長の競技施設、宿泊施設視察の受入れ(H29.7)

・県スポーツコミッションを通じて、スイスへ競技施設等の資料を送付(H29.9)

・駐日大使館訪問:エストニア(H29.6、H29.8、H30.1)

エ 持続可能な循環型社会の構築

重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
市内の自然エネルギーを用いた電力自給率 【環境政策課調】	目安値		10.14	11.73	13.32	14.91	16.50	%	
	実績値	8.55	11.71	13.78	—				
	進捗区分		順調	順調	未公表				
進捗状況の分析	メガソーラー発電事業や市民向けの各種補助制度の推進による太陽光等の自然エネルギーの普及により、数値は順調に推移すると見込まれます。 ※H29実績値はH30.12月頃に把握が可能となるため、現時点では「未公表」となります。								
今後の方針	今後も補助事業等の継続により、更なる自然エネルギーの普及を推進します。								

主な成果

●木質バイオマスエネルギーの利用促進

・ペレットストーブ、木質バイオマスボイラー・燃料製造設備の購入及び設置経費に対し補助金を交付

* 木質バイオマス熱利用設備導入事業補助金

平成29年度実績 ペレットストーブ:10件 木質バイオマスボイラー:2件

(平成28年度実績 ペレットストーブ:20件 燃料製造設備:1件)

●太陽光エネルギーの利用促進

・年間日照時間が長い本市の特徴を生かし、補助事業やメガソーラー発電を実施

* 太陽光エネルギー普及事業補助金

平成29年度実績 件数:299件 出力:1,949.69kW 38,879千円

(平成28年度実績 件数:286件 出力:1,792.44kW 35,760千円)

* メガソーラー発電所(佐久市茂田井)

平成29年度実績 発電量:3,477,746kWh

(平成28年度実績 発電量:3,341,440kWh)

●水力発電の利用促進

* 老朽化した平根発電所の改修を実施

平成30年2月竣工

オ 健康長寿ブランドの構築と国際展開

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
保健医療分野における視察研修の受入人数 【健康づくり推進課調】	目安値		126	150	160	175	185	人/年
	実績値	111	90	86	161			
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	順調			
進捗状況の分析	「保健・医療のつばさ」事業における海外からの視察研修受入を推進し、視察国受入件数(H26:8件、H27:6件、H28:8件、H29:14件)とともに、受入人数は大幅に増加しました。また併せて視察者の滞在日数も延びています。							
今後の方針	引き続き、関係団体と協議を行い、プログラムの充実を図るとともに、国内外に向け佐久市の「健康長寿」を発信し、受入人数・受入回数の増加を図ります。							
指標名	年度別評価	— (基準値)	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
ヘルスケア関連産業における新製品・新技術の開発件数(計画期間の累計) 【商工振興課調】	目安値		3	6	9	12	件	
	実績値	—	2	2				
	進捗区分		努力を要する	努力を要する				
進捗状況の分析	H28に佐久市健康長寿産業振興ビジョンを策定し、H29から同ビジョンの実行によりヘルスケア関連産業等の創出・拡大に努めていますが、新製品・新技術の開発に当たり、関係機関と連携した支援体制の構築に向けて準備中であったことから、H29は目安値には達していない状況です。							
今後の方針	H29年3月末に商工団体と連携し佐久産業支援センターを立ち上げました。今後、同センターにおいて新製品・新技術の開発等を支援することにより、件数の増加を図ります。							

主な成果

●世界に誇る佐久市の「健康長寿」ブランドの構築推進

・幼少期からの健康意識を高め、将来を見据えた健康長寿のまちづくりを目指し、オリジナルのアニメキャラクターを用いた小学生向けの健康プロモーション映像を制作

【地方創生関係交付金活用事業】

●「健康長寿」ブランドの国際展開による世界への貢献

・平成28年度に制作した健康長寿プロモーションビデオに、高齢者福祉事業と佐久市内のヘルスケア産業部分を追加した改訂版を制作し、加えて映像をベースとしたパンフレットを制作(日本語版、英語版、中国語版)

- ・平成28年度の健康長寿要因等調査の追加調査を実施し、健康長寿に関係したデータを収集、整理し、また市民アンケート調査を行い、健康長寿のまちとして対外的にPRできるデータのとりまとめを実施
- ・「保健・医療のつばさ事業」における海外からの視察研修者の受入れを実施
 - 佐久市、国保浅間総合病院、佐久総合病院、佐久大学の4者の連携により、海外視察研修者の受入を実施するとともに、連携方法等について検証を適宜実施
- * 視察受入れ延べ人数(受入人数×滞在日数)
 - (平成29年度実績 延べ1,286人)
 - (平成28年度実績 延べ402人)
- 【地方創生関係交付金活用事業】
- 健康長寿関連産業の活性化を推進
 - ・平成29年度末に新製品・新技術の研究開発や創業の支援を行う「佐久産業支援センター」を商工団体との連携により設立(再掲)
 - 【地方創生関係交付金活用事業】
 - *ヘルスケア関連産業における新製品・新技術の開発
 - 平成29年度実績 開発件数:0件
 - (平成28年度実績 開発件数:2件)
 - ・プレパレート自動染色・封入システムユニット(病理検査で使用する医療機器)の開発
(事業主体:㈱システム・ワン、㈱イオジェネサポート)
 - ・ナノ化技術を使用したディフューザー(空間の除菌・消臭等を行う装置)の開発
(事業主体:㈱イオジェネサポート、㈱システム・ワン、㈱カウベルエンジニアリング)

(2) 首都圏等からの人材還流及び佐久市における人材育成・雇用対策

ア 新規就農・就業の促進

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
新規就農者数(計画期間の累計) 【農政課調】	目安値		6	12	18	24	30	人
	実績値	—	6	11	20			
	進捗区分		順調	概ね順調	順調			
進捗状況の分析	新規就農支援策の充実により、平成29年度も目安値を上回り順調に推移し、前年度と比較した増加幅も拡大しています。							
今後の方針	支援策の周知を徹底し、新規就農者のさらなる増加を図ります。							

主な成果

●新規就農者及び農業後継者の定着のための経費補助

- ・国等の給付金の対象とならない新規就農者、農業後継者に対する市単独の補助金を新設

平成29年度実績 補助金交付件数、金額: 4件、600,000円

(平成28年度実績 補助金交付件数、金額: 3件、900,000円)

●新規就農希望者研修制度の構築

- ・新規就農者を受け入れ、経営継承を目指す高齢農家に対する研修経費に係る補助金を新設

平成29年度実績 相談件数: 2件

(平成28年度実績 相談件数: 2件)

●UIJターンによる新規就農希望者への情報発信及び定着支援

- ・就農相談会での情報発信等により、新規就農希望者の就農を総合的に支援

平成29年度実績 定例就農相談会の開催数、参加者数: 12回、26人 首都圏就農相談会の参加: 3回

(平成28年度実績 定例就農相談会の開催数、参加者数: 8回、16人 首都圏就農相談会の参加: 1回)

イ 技能・知識の獲得の支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
資格取得支援事業による資格取得件数(計画期間の累計)	目安値		10	20	30	40	50	件	
	実績値	—	1	2	3				
	【商工振興課調】	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する			
進捗状況の分析	依然として補助利用が少ない状況であり、市内企業へのPR不足が考えられます。								
今後の方針	事業の周知方法を見直し、資格取得件数の増加に努めます。								

主な成果									
<p>● 商工業者の技能養成にかかる経費への補助 平成29年度実績 補助件数1件（技能養成講座・講習等受講者数:26人） （平成28年度実績 補助件数1件（技能養成講座・講習等受講者数:41人））</p> <p>● 従業員及び内定者の資格取得の経費への補助 平成29年度実績 補助金を交付した企業数 1社（合格者数 1名、不合格者数 0名） （平成28年度実績 補助金を交付した企業数 2社（合格者数 1名、不合格者数 1名））</p>									

ウ 多様な人材の雇用促進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
移住者雇用対策事業による移住者雇用件数(計画期間の累計)	目安値		3	6	9	12	15	件	
	実績値	—	1	5	14				
	【商工振興課調】	進捗区分		努力を要する	概ね順調	順調			
進捗状況の分析	H27から始まった事業ですが、制度の普及により、H29は目安値を上回り順調となっています。								
今後の方針	引き続き事業の周知により、移住者雇用件数の増加を図ります。								
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
障がい者実雇用率	目安値		2.00	2.03	2.05	2.07	2.10	%	
	【長野労働局調】	実績値	1.92	1.65	1.78	—			
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	未公表				
進捗状況の分析	市内相談支援事業所等と連携し、障がい者の就労に係る相談支援事業に取り組みます。 ※H29実績値は、H30.8月頃に把握が可能となるため、現時点では「未公表」となります。								
今後の方針	引き続き、事業主のための障がい者雇用支援制度の情報提供等、企業や職場の「障がい者の就労」に対する理解の普及・啓発に努めます。								

主な成果									
<p>● 移住者の雇用に対する補助の実施 平成29年度実績 補助金を交付した企業数 8社（移住者数 9名） （平成28年度実績 補助金を交付した企業数 4社（移住者数 4名））</p> <p>● 障がい者への相談支援体制の充実 ・働く意欲のある障がい者が就労、さらには雇用の場で定着できるように、市内相談支援事業所及び佐久広域連合障害者相談支援センターと連携し、相談支援に取り組む。</p>									

(3) ICT等の利活用による地域産業の活性化

ア 民間企業等のICT活用による効率化と付加価値向上の促進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
サテライトオフィス設置 支援事業による事業所 の立地件数(計画期間 の累計) 【商工振興課調】	目安値		1	2	3	4	5	件
	実績値	—	0	0	0			
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する			
進捗状況の分析	サテライトオフィス設置可能な空きオフィスがあるものの、企業側が考える業務体制や導入コストの費用対効果が割に合わない等の理由から、誘致に結びつかない状況です。							
今後の方針	遠隔勤務について比較的可能性が高い情報サービス業への積極的な企業誘致を行うことにより、サテライトオフィスの設置へつなげます。							

主な成果

● 企業訪問による誘致活動の実施

平成29年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 16件
 (平成28年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 18件)

基本目標② 多くの人に選ばれることができる佐久市における「ひと」の創生

基本目標の考え方	人口減少の抑制を人口の社会動態に着目して考えれば、人口の流入促進と流出抑制を図ることが重要であるため、佐久市への新しい人の流れづくりに取り組みます。
-----------------	--

数値目標の進捗状況									
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
人口の社会増 (計画期間の累計) 【長野県毎月人口異動調査】	目安値		200	400	600	800	1,000	人	
	実績値	—	246	407	656				
	進捗区分		順調	順調	順調				
総合分析	<p>基本目標②の数値目標である「人口の社会増(転入者数－転出者数)」は、平成29年度は249人の社会増となり、目安値を上回り、順調に推移しています。また平成28年度に比べ、増加幅も拡大しています。</p> <p>(平成29年：転入者数 3,606人 － 転出者数 3,357人 = 249人) (平成28年：転入者数 3,499人 － 転出者数 3,338人 = 161人)</p> <p>佐久市に「住んでみたい」「住み続けたい」と感じてもらうためにも、高速交通網の充実や医療福祉の充実等の佐久市の卓越性を国内外へ発信する等、多くの人が集う魅力あふれるまちづくりに資する取組の推進が重要です。</p> <p>平成29年度における基本目標に係る重要業績評価指標(KPI)は、11項目のうち、「順調」が2項目、「努力を要する」が4項目となりました。</p>								
今後の方針	<p>「努力を要する」となったKPIは、「空き家バンク登録物件の契約成立件数」や「新たな企業等の立地件数」などでした。空き家バンク登録物件の契約成立件数については、掲載物件の減少により目安値を達成することが出来なかったため、引き続き優良物件の確保に努めます。新たな企業等の立地件数は、目安値の達成には至らなかったものの、平成29年度は1件の誘致に成功しています。</p> <p>今後も新しい人の流れづくりに向け、高速交通網の結節点である地理的優位性を生かし、平成30年4月に開通した中部横断自動車道佐久白田インターチェンジ周辺に新たな工業団地の整備を進めるほか、無料職業紹介事業(地方版ハローワーク)、また佐久市シティプロモーション事業といった新たな取組を平成30年度から展開していきます。</p>								

(1) 移住・交流の促進

ア 交流・観光・移住のためのプロモーションの実施

重要業績評価指標(KPI)の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
市ホームページでのPR動画再生件数 【広報情報課調】 ※H27動画公開開始	目安値		230	460	690	920	1,150	件/月	
	実績値	—	308	801	1,439				
	進捗区分		順調	順調	順調				
進捗状況の分析	ホームページ掲載動画の充実を図ったことにより、再生件数が堅実に伸びています。								
今後の方針	掲載動画のうち作成時期が古いものは再生件数が低下していくため、新しい動画への更新・充実に努めます。								

主な成果

● 佐久市の人・街・食・環境等の情報の発信

- ・FMラジオにより、定期コーナー及びイベントと連動した出張放送を実施
- ・佐久市の人・街・食・環境や佐久市が取り組む地域活動などを全国へ発信

＊放送実績

平成29年度実績 定期コーナー放送18回・公開収録イベント2回
 (平成28年度実績 定期コーナー放送18回・公開収録イベント2回)

●観光客・移住者増のためのPRの実施

・市の情報をホームページで動画配信することにより、市内外の方々に佐久市の魅力を効果的に発信

イ 移住定住促進のための体験機会の提供と経済的支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
空き家バンク登録物件 の契約成立件数 【移住交流推進課調】	目安値		50	55	60	60	60	件/年
	実績値	45	75	70	39			
	進捗区分		順調	順調	努力を要する			
進捗状況の分析	掲載物件が減少しているため、空き家バンクの成約数が伸び悩んでおり、優良物件の確保が必要です。							
今後の方針	無居住家屋実態調査結果を踏まえ、利便性の高い優良物件の洗い出しを行い、登録物件の増加を図ります。							

主な成果

●移住定住推進施設の管理

・移住体験住宅を管理し、佐久市での生活体験を実施

＊移住体験住宅 利用実績

平成29年度実績 利用世帯数 25世帯 うち佐久市へ定住した世帯数 4世帯
 (平成28年度実績 利用世帯数 32世帯 うち佐久市へ定住した世帯数 6世帯)

●移住促進サポートプラン(移住促進住宅取得費等補助金の交付)

・佐久市に移住し、住宅の新築若しくは中古住宅を購入した者に対し補助金を交付

※H29からハウスクリーニングに係る補助の新設、移住促進住宅取得費等補助金のメニューの見直し(中学生以下の扶養する子と同居する場合、一律10万円の加算を一人当たり10万円の加算へ変更)を行う。

＊移住促進住宅取得費等補助金

平成29年度実績 22世帯
 (平成28年度実績 35世帯)

ウ 地域おこし協力隊の導入

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	— (基準値)	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
活動後に移住する地域 おこし協力隊員の率 【企画課調】	目安値		—	—	—	60.0	%
	実績値	—	—	—			
	進捗区分		実績値なし	実績値なし			
進捗状況の分析	地域おこし協力隊については、H28から導入し、9名の隊員が活動中です(H29末時点)。任期が最長3年であり、任期満了者がいないため、H29は「実績値なし」となります。						
今後の方針	活動地域への定住・定着が図れるよう、隊員の起業化支援に努めます。						

主な成果

● 地域おこし協力隊により地域の活性化を推進

* 地域おこし協力隊導入状況 (H30.3.31現在)

・平成28年4月1日委嘱 4名

	活動地域	活動内容
隊員①	白田地域	健康メニュー・商品開発と地域の賑わいの創出等
隊員②	浅科地域	伝統的地場産業の担い手育成等
隊員③	望月地域	工芸・民芸・書などの特産品等の開発等
隊員④	望月地域	小さな物流システムの構築支援等

・平成28年8月1日委嘱 1名

	活動地域	活動内容
隊員⑤	白田地域	生涯活躍のまち(日本版CCRC)の事業化のコーディネート等

・平成29年7月1日委嘱 3名

	活動地域	活動内容
隊員⑥	佐久全域	新規就農希望者の募集とサポート
隊員⑦	望月地域	中山道望月宿を中心とした地域おこし
隊員⑧	望月地域	荒廃農地の再生による地域おこし

・平成29年11月1日委嘱 1名

	活動地域	活動内容
隊員⑨	佐久全域	道の駅「ヘルシーテラス佐久南」による農業振興

エ 生涯活躍のまち(日本版CCRC)の構築

重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
生涯活躍のまち(日本版CCRC)構築による市外からの移住者数(計画期間の累計)	目安値		—	—	—	—	50	人
	実績値	—	—	—	—			
	【移住交流推進課調】	進捗区分		実績値なし	実績値なし	実績値なし		
進捗状況の分析	生涯活躍のまちの構築に向けた準備段階のため、H29は「実績値なし」となります。							
今後の方針	平成31年度のサービス付き高齢者向け住宅の入居開始にあわせ、生涯活躍のまちの構築を推進します。							

主な成果

● 生涯活躍のまち(日本版CCRC)の構築

・移住の動機付けにも必要となる地域の魅力づくりに向けた事業を推進

* 佐久市への移住お試しツアー

平成29年度実績 2回開催 17名参加

(平成28年度実績 1回開催 4名参加)

* 移住促進センターにおける相談件数

平成29年度実績 100件

(平成28年度実績 155件)

【地方創生関係交付金活用事業】

(2) 企業等の誘致、企業等による地方採用・就労の拡大

ア 企業や政府関係機関の誘致

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況									
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
新たな企業等の立地件数 (計画期間の累計) 【商工振興課調】 ※サテライトオフィスの立地を含む	目安値		2	4	6	8	10	件	
	実績値	—	1	2	3				
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する				
進捗状況の分析	本指標はサテライトオフィスの立地を含むことから、当該分を除いた立地件数では、産業立地推進員の誘致活動やその他施策の推進により、平成29年度末までに民間所有地への3件の企業誘致に成功し、目安値どおりに進捗しています。								
今後の方針	工業用地の整備を進めるとともに、引き続き民間所有物件への企業誘致を推進します。								

主な成果

- 平成28年度 1社、平成29年度 1社の企業誘致に成功
 - 平成29年度…日精エー・エス・ビー機械(株)(本社:小諸市・プラスチックボトル生産機製造販売)立地 (平成28年度…三河田工業団地ヘシチズンマシナリー(株)(本社:北佐久郡御代田町・NC旋盤等の製造販売)立地)
- 市外から佐久市内へ立地する企業に対する補助
 - ・工場等用地取得に要する経費に対する補助
 - 平成29年度実績 平成29年度から補助金の交付を開始した件数:0件 (平成28年度実績 平成28年度から補助金の交付を開始した件数:2件(内訳:リスク分散2件))
 - ・工場等の建物・償却資産の固定資産税相当額を補助
 - (平成29年度実績 平成29年度から補助金の交付を開始した件数:2件(内訳:リスク分散2件) (平成28年度実績 平成28年度から補助金の交付を開始した件数:1件(内訳:リスク分散1件))
- 産業立地推進員の訪問実績
 - ・産業立地推進員を2名配置(東京・大阪)し、企業訪問により誘致活動を推進
 - 平成29年度実績 799件 (平成28年度実績 770件)

イ 遠隔地勤務等の新たな事業所立地の支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況									
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	備考
サテライトオフィス設置支援事業による事業所の立地件数 (計画期間の累計) 【商工振興課調】	目安値		1	2	3	4	5	件	※再掲
	実績値	—	0	0	0				
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する				
進捗状況の分析	サテライトオフィス設置可能な空きオフィスがあるものの、企業側が考える業務体制や導入コストの費用対効果が割に合わない等の理由から、誘致に結びつかない状況です。								
今後の方針	遠隔勤務について比較的可能性が高い情報サービス業への積極的な企業誘致を行うことにより、サテライトオフィスの設置へつなげます。								

主な成果

- 企業訪問による誘致活動の実施
 - 平成29年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 16件 (平成28年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 18件)

ウ 就職支援員による就職相談及び職業紹介

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況						
指標名	年度別評価	— (基準値)	H30	H31 (目標値)	単位	
無料職業紹介事業(地方版ハローワーク)により紹介した求職者を市内企業が採用した人数【商工振興課調】	目安値		30	30	人	
	実績値	—				
	進捗区分					
進捗状況の分析	平成30年度から開始する事業です。					
今後の方針	就職支援員による企業訪問や学校訪問、市ホームページや広報紙へ掲載により、事業の周知を図ります。					

(3) 若者の市内企業への就職促進と人材育成

ア 地元出身学生の定着・Uターンの促進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別評価	— (基準値)	H29	H30	H31 (目標値)	単位			
佐久市奨学金の償還の一部免除要件を満たし市内に在住している者の数(計画期間の累計)【学校教育課調】	目安値		13	26	40	人			
	実績値	—	13						
	進捗区分		順調						
進捗状況の分析	学校訪問や広報誌への掲載による免除制度の周知の徹底により、目安値を達成しました。								
今後の方針	就職活動開始前の奨学生(大学3年生)に対し、重点的に制度の周知を図ります。								
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
インターンシップ実習生を市内企業が採用する人数(計画期間の累計)【商工振興課調】	目安値		2	4	6	8	10	人	
	実績値	—	1	3	—				
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	未公表				
進捗状況の分析	H28末実績値は累計3人で努力を要する結果となりましたが、インターンシップ実習生が受け入れた市内企業の採用試験に申し込まないこともあるためと考えられます。 ※H29実績値はH31.4月頃に把握が可能となるため、現時点では「未公表」となります。								
今後の方針	市内企業のPRの機会や将来の技術者の確保のきっかけとして、インターンシップに係る補助制度を利用してもらうことにより、首都圏等の学生の市内企業への就職の可能性が広がることから、引き続き事業の周知に努めます。								

主な成果

● 佐久市奨学金の一部免除

- 平成29年度以降、新たに奨学金を償還する者のうち、償還期間中市内に居住し、かつ就職している者に1/3以内で償還金を免除
平成29年度実績 償還開始29件のうち、13件を免除

● 若者の市内企業への就職促進

- インターンシップ事業に参加する学生を受け入れた企業に対し、補助金を交付
平成29年度実績 受入れ企業数:7社(参加学生数:11名。うち市内企業への就職者数:未公表)
(平成28年度実績 受入れ企業数:8社(参加学生数:17名。うち市内企業への就職者数:2名))
- インターンシップ事業に参加する学生の交通費及び宿泊費に対し、補助金を交付
平成29年度実績 上記参加学生11名のうち、補助利用者 1名
(平成28年度実績 上記参加学生17名のうち、補助利用者 3名)

イ 学生等への市内企業のPR支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
イベント・見学会参加企業への就職者数(計画期間の累計)	目安値		10	20	30	40	50	人	
	実績値	—	1	8	22				
【商工振興課調】	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する				
進捗状況の分析	就職者数が目安値に達していないものの、就職者数は増加傾向にあります。イベント参加者数は年々増加していることから、今後もより多くの学生等に参加してもらえるよう、イベントの周知を強化する必要があります。								
今後の方針	就職までつながる件数は少ない状況ですが、市内企業を多くの学生等に知ってもらうためのPRの場は必要と考えられるため、より多くの学生等に参加してもらえるよう開催方法等を検討するとともに、引き続き事業の周知に努めます。 また、地元開催の就職説明会・面接会等についても、引き続き事業の周知に努めます。								

主な成果									
● 就職支援員による大学等への訪問									
就職支援員 1名									
平成29年度実績 上田地区 4校、長野地区 5校、松本・諏訪・茅野地区 4校、高崎・前橋地区 7校、甲府・大月・都留地区 4校 計24校									
(平成28年度実績 上田地区 4校、長野地区 5校、松本・茅野地区 3校、高崎・前橋地区 7校 計19校)									
● 市内企業のPRイベント(面接会等)の開催									
平成29年度実績 (東京)開催回数:1回 参加者数:15名 内就職者数: 4名									
(市内)開催回数:1回 参加者数:77名 内就職者数:10名									
(佐久地域)参加者数:125名 内内定者数:未公表									
(平成28年度実績 (東京)開催回数:1回 参加者数: 6名 内就職者数: 0名									
(市内)開催回数:1回 参加者数:35名 内就職者数: 7名									
(佐久地域)参加者数:112名 内内定者数:21名)									

ウ 地域産業を担う人材の育成支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
佐久大学・佐久大学信州短期大学部からの地元企業等への就職者数	目安値		49	54	60	65	70	人/年	
	実績値	36	30	16	18				
【佐久大学・佐久大学信州短期大学部調】	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する				
進捗状況の分析	地元企業等への就職者数は減少傾向となっています。市外出身者は地元へ戻っての就職が多く、市内出身者の県外就職もあることが考えられます。								
今後の方針	実習の受け入れ等により、地域の医療・福祉産業の活性化とそれを担う人材の育成に努めます。								

主な成果									
● 地元大学等との連携強化									
・平成26年8月に佐久大学・佐久大学信州短期大学部と包括連携協定を締結									
・佐久大学生の佐久市への実習の受け入れ									
健康づくり推進課:看護総合実習、地域看護実習									
高齢者福祉課:地域看護実習									
浅間総合病院:看護学実習等									
みすず苑:老年看護学実習									
他									

・佐久大学への講師派遣

浅間総合病院:医師、看護師を講師として派遣

健康づくり推進課:保健師、栄養士、歯科衛生士を講師として派遣

他

・佐久大学短期大学部学生の佐久市への実習受け入れ

シルバーランドみついきしの:介護施設実習

基本目標③ 安心して結婚し、子どもを生み育てることができる佐久市における「ひと」の創生

基本目標の考え方	人口減少の抑制を人口の自然動態に着目して考えれば、たくさんの子どもの生まれることが重要であるため、市民が、安心して結婚し、子どもを生み育てたいという希望を実現できる社会環境の醸成に取り組みます。
-----------------	---

数値目標の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
合計特殊出生率 【健康づくり推進課調】	目安値		1.61	1.63	1.65	1.67	1.69	—	
	実績値	1.59	1.52	1.55	—				
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	未公表				
総合分析	<p>基本目標③の数値目標は国の基幹統計調査に基づき算出をしています。平成29年度は平成30年10月頃に把握が可能となる予定で、実績値を把握することができないことから、「未公表」となります。</p> <p>「合計特殊出生率」は、平成28年度の実績値は目安値を下回る結果となったものの、前年度と比較し0.03ポイント上昇しました。前年度と比較すると、年齢階級別女子人口が「25～29歳」「45～49歳」を除き、全ての階級で減少し、出産可能年齢層（15～49歳）は全体的に減少しています。</p> <p>一方、出生数は増加しており、特に「35～39歳」「40～44歳」の出生率が前年度と比較し、増加の割合が大きくなっています。「コウノトリ支援事業」の申請者数も年々増加していますが、平成28年度申請者のうち、出産に結びついた母親は35歳以上が約7割を占めていることから、晩婚化等の社会的背景の影響があるものと考えられます。</p> <p>平成29年度における基本目標に係る重要業績評価指標（KPI）は、21項目のうち、「順調」が9項目、「概ね順調」が1項目、「努力を要する」が8項目でした。</p>								
今後の方針	<p>KPI「第3子以降の出生数」は前年度に引き続き目安値を上回る結果となりました。保育料の第3子以降の無料化や、平成29年度から開始した子どもの福祉医療費給付金支給対象年齢の満18歳の年度末までの拡大等、若い世代の経済的負担の軽減に資する施策が着実に推進しているものと考えられます。</p> <p>また、KPI「おたふくかぜワクチンの任意接種費用助成事業を利用する1歳児の割合」は、事業が平成29年度から開始となったものですが、目安値を大幅に上回ることができ、乳幼児の心身の健康な育ちの支援に一定程度の成果を得られているものと考えられます。平成30年度からは、新たに年長児のフッ素洗口の実施や福祉医療費給付金の支給方法の窓口無料化への変更等、子育て支援の更なる充実を図ります。</p> <p>一方、「努力を要する」となったKPIは、「男女共同参画推進事業者表彰件数」などでした。女性の仕事と子育ての両立の着実な実現のためにも、今後も引き続き関連施策を強力に推進する必要があります。</p>								

(1) 若い世代の経済的安定

ア 雇用の安定と子育て家庭の経済的負担の軽減

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
雇用対策事業補助金による新規雇用者数(計画期間の累計) 【商工振興課調】	目安値		39	78	117	156	195	人	
	実績値	—	43	92	122				
	進捗区分		順調	順調	順調				
進捗状況の分析	雇用対策事業補助金の利用促進により、補助を活用した新規雇用者数は順調に推移しています。								
今後の方針	新規雇用者数は順調に推移していますが、新規学卒者に対する当該補助は平成29年度までの時限措置であるため、終了しました。当該施策は地方創生の実現に一定の効果が認められたと考えることから、本指標はH29で検証終了とし、H30以降は、基本目標②(2)ウの「無料職業紹介事業(地方版ハローワーク)により紹介した求職者を市内企業が採用した人数」により、雇用の安定に対する効果を検証します。なお、それに合わせ、KPI追加のため総合戦略の改訂を行います。								

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
第3子以降の出生数 【子育て支援課調】	目安値		123	130	137	144	150	人/年
	実績値	116	133	142	143			
	進捗区分		順調	順調	順調			
進捗状況の分析	第3子以降の保育料の無料化をはじめとする子育て支援事業の推進により、H29実績値ともに順調に推移しています。							
今後の方針	引き続き子育て世代のニーズに応じたサービスの提供に努め、出生数の向上を図ります。							

主な成果

●新規学卒者及び離職者の雇用に対する補助金の交付

- ・新規学卒者を1年以上雇用した中小企業等の事業主に対し、補助金を交付
平成29年度実績 13社 30件(新規学卒者:30名)
(平成28年度実績 26社 49件(新規学卒者:46名、離職者 3名))

●保育料の負担軽減

- ・同一生計の兄姉の年齢などに関係なく、第3子以降の保育園・幼稚園保育料を無料化
平成29年度実績 対象児童数 473人
(平成28年度実績 対象児童数 374人)

●子ども福祉医療費給付金の支給対象年齢の拡大

- ・これまで中学校修了前としていた子どもの福祉医療費給付金支給対象年齢を、満18歳の年度末まで拡大
平成29年度実績 対象者14,303人(うち、拡大分1,950人)

イ ひとり親家庭・生活困窮者等の自立支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別 評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
自立支援教育訓練給付 事業による資格取得件 数(計画期間の累計) 【子育て支援課調】	目安値		3	6	9	12	15	件
	実績値	—	0	1	1			
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する			
進捗状況の分析	広報や窓口等において事業の周知を図っていますが、利用につながらない現状があります。							
今後の方針	現状の周知方法に加え、つどいの広場や保育園等とも連携し広く周知を図り、利用者の増加に繋がります。							
指標名	年度別 評価	— (基準値)	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
高等学校卒業程度認定 試験合格支援給付事業 の活用件数(計画期間 の累計) 【子育て支援課調】	目安値		5	10	15	20	件	
	実績値	—	0	0				
	進捗区分		努力を要する	努力を要する				
進捗状況の分析	広報や窓口等において事業の周知を図っていますが、利用につながらない現状があります。							
今後の方針	現状の周知方法に加え、つどいの広場や保育園等とも連携し広く周知を図り、利用者の増加に繋がります。							

主な成果

●ひとり親家庭の経済的自立、福祉増進を図るため資金貸付の実施

- ・ひとり親家庭の経済的自立、福祉増進を図るため、県の貸付制度の相談及び申請窓口事務を実施
平成29年度実績 貸付件数 10件
(平成28年度実績 貸付件数 9件)

●ひとり親家庭等の保護者への教育訓練講座受講費への補助

- ・ひとり親家庭の親が、就労に必要な教育訓練講座を受講した場合、指定講座の修了者に給付金を支給
平成29年度実績 1件
(平成28年度実績 1件)

●ひとり親家庭の保護者の就職のための高等技能促進費の支給

- ・ひとり親家庭の親が、看護師等の経済的な自立に効果的な資格を取得するために1年以上の養成機関等で修学する場合に訓練促進費を支給
平成29年度実績 延 47件
(平成28年度実績 延 44件)

●ひとり親家庭の親の学び直しへの支援

- ・ひとり親家庭の親又はその子が高等学校卒業程度認定試験の合格を目指し講座を受講する場合、受講料の一部を補助
平成29年度実績 0件
(平成28年度実績 0件)

(2) 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

ア 恋愛・結婚の支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	— (基準値)	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
イベント参加者の成婚数(計画期間の累計) 【福祉課調】	目安値	—	0	5	10	20	組
	実績値	—	0	1			
	進捗区分	—	実績値なし	努力を要する			
進捗状況の分析	目安値は達成出来ませんでしたが、平成28年度に開催したイベントで出会った男女1組が成婚に至りました。						
今後の方針	平成30年度においても、引き続き婚活パーティーを開催し、出会いの場や機会の提供を図ります。また、参加者に実績把握(事後アンケート等)への協力を求めています。						

主な成果

●佐久市結婚支援事業「SAKU♡恋」の開催

- ・未婚の若者を対象に、恋愛や結婚に関するイベントを開催
平成29年度実績 4回のイベント(婚活パーティー)を開催
参加者 137人(婚活パーティ 137人(うち、カップル成立 21組))
成婚数 1組
(平成28年度実績 7種18回のイベントを開催
参加者 445人(講座等 263人、出会いパーティ 182人(うち、カップル成立 23組)))

イ 安心して出産を迎えるための支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
出産を迎えるための佐久市の支援に対する満足度 【健康づくり推進課調】	目安値	—	—	50.0	50.0	50.0	50.0	%
	実績値	—	—	80.4	83.6			
	進捗区分	—	実績値なし	順調	順調			
進捗状況の分析	各種施策の推進により満足度は目安値を超え、前年度よりも上昇し順調に推移しています。							
今後の方針	引き続き「こんにちは赤ちゃん事業」での調査を進め、満足度の維持を図ります。							

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
浅間総合病院における 出産件数	目安値		710	720	730	740	750	件/年
	実績値	609	709	636	590			
	進捗区分		概ね順調	努力を要する	努力を要する			
進捗状況の分析	当院以外の医療機関における受診状況により、出産件数が増減する傾向があります。							
今後の方針	出産に携わる医師及び医療スタッフの確保に取り組むとともに、安心して出産ができる環境の構築を推進します。							

主な成果

●不妊治療及び不育症に要する保険診療適用外の治療費の一部助成

*コウノトリ支援事業補助金

平成29年度実績 交付者 132組 (うち、妊娠57組 出生38組)
(平成28年度実績 交付者 130組 (うち、妊娠55組 出生41組))

●妊娠・出産・育児の知識を提供する「パパママ教室」の開催

・妊娠4ヶ月から8ヶ月の妊婦とその家族を対象とした講座を開催

*パパママ教室

平成29年度実績 実施回数 30回、延参加者数 723人
(平成28年度実績 実施回数 30回、延参加者数 686人)

●妊婦さんの歯の教室の開催

・妊婦を対象とした歯科健診や歯科指導を実施することで、妊婦と生まれてくる子どもの口腔の健康づくりを推進する。

平成29年度実績 12回開催 参加者数 105人
(平成28年度実績 12回開催 参加者数 93人)

●「ライフデザイン」講座の開催

・市内中学生、高校生、大学生を対象に、本人の身体づくりや妊娠適齢期、出産適齢期を理解していただくための講座を開催

*活動の状況

平成29年度実績 高校 1回 大学 2回
(平成28年度実績 中学校 1回 高校 1回 大学 2回)

●長野県外での妊婦一般健康診査受診者への助成金交付

*妊婦一般健康診査県外受診費用補助金

平成29年度実績 1,422,230円
(平成28年度実績 1,501,488円)

●妊産婦に対する医療費の助成

・早期の適切な受療と医療費負担の軽減を図るため、妊産婦に対し福祉医療費給付金を支給

*プレママ医療給付金

平成29年度実績 1,139人支給
(平成28年度実績 838人支給)

●浅間総合病院における快適で魅力ある出産環境の整備

・出産後の良好な経過を目的に、下肢へのアロマテラピーマッサージを実施。アロマテラピーマッサージが受けられることを理由に浅間総合病院での分娩を希望する方も出ている。

・両親学級の実施 分娩の流れと出産時における奥さんへの配慮を旦那さんに学んでいただく教室 毎月3回実施

・母乳学級の実施 出産後、上手に母乳育児が出るための教室 毎月1回実施

●入院助産ができない妊産婦への支援

- ・保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由により入院助産ができない妊産婦に対して、妊娠、出産の適正時期に助産施設への入所を支援
平成29年度実績 2件
(平成28年度実績 2件)

(3) 子ども・子育て支援の充実

ア 乳幼児の心身の健康な育ちの支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
適切な時期に子どもの発育や発達の確認ができた保護者の割合 【健康づくり推進課調】	目安値		100	100	100	100	100	%	※乳幼児健診の受診及び未受診者への訪問等による支援により、適切な時期に子どもの発育や発達の確認ができた保護者の割合
	実績値	100	100	100	100				
	進捗区分		順調	順調	順調				
進捗状況の分析	高い健診の受診率(H29:4か月児健診99.3%、10か月児健診98.3%、1歳6か月児健診99.5%、3歳児健診99.4%)を保ちながら、未受診者については電話連絡や訪問等により確認をしています。								
今後の方針	引き続き事業の推進により、現状値の維持を図ります。								
指標名	年度別評価	H28 (基準値)	H29	H30	H31 (目標値)	単位			
おたふくかぜワクチンの任意接種費用助成事業を利用する1歳児の割合 【健康づくり推進課調】	目安値		85	87	90	%			
	実績値	—	96						
	進捗区分		順調						
進捗状況の分析	広報や健診時などの周知や個別接種実施医療機関の協力により、目安値以上の実績を得ることができました。								
今後の方針	事業の周知を継続し、一層の利用者の増加を図ります。								
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
園や家庭で、自発的に運動をする年長児童の割合 【子育て支援課調】	目安値		50	55	60	65	70	%	※縄跳び、マット運動、鉄棒などの運動が好きになって自発的に運動する年長児童の割合
	実績値	—	65	68	75				
	進捗区分		順調	順調	順調				
進捗状況の分析	保育に運動あそびプログラムを取り入れていることにより運動が身近なものとなり、順調に推移しています。								
今後の方針	引き続き運動あそびプログラムを取り入れた保育を推進します。								

主な成果

●乳幼児学級の実施

- ・乳幼児の親子に対する体験・学習等(リズム体操、ミニ運動会等)の教室を市内各地で実施
平成29年度実績 56回開催 延参加者数 2,136人
(平成28年度実績 56回開催 延参加者数 1,848人)

●「こんにちは赤ちゃん事業」の実施

- ・乳児の健やかな発育・発達のため、生後4か月までの全乳児とその家族に対し、保健師・助産師が訪問指導を実施
平成29年度実績 訪問件数 764件
(平成28年度実績 訪問件数 753件)

●乳幼児健康診査の実施

- ・母子保健法に基づき、乳児(4か月児、10か月児)の健康診査と、幼児(1歳6か月児、3歳児)の健康診査及び歯科健康診査を実施。7か月児健康診査は、県内医療機関にて個別健診を実施

平成29年度実績

	4か月児	7か月児	10か月児	1歳半	3歳児
受診児数	755	722	757	801	819
受診率	99.3	86.3	98.3	99.5	99.4

(平成28年度実績)

	4か月児	7か月児	10か月児	1歳半	3歳児
受診児数	767	727	764	716	825
受診率	97.6	85.5	98.2	98.5	98.4

●2歳児歯っぴー教室の開催

- ・3歳児のむし歯を減らすため、2歳2か月児・3か月児とその保護者を対象として、歯科健診や歯科指導、フッ素塗布等を実施

(平成29年度実績 12回開催 参加者数 474人(うち、2歳児 233人)

(平成28年度実績 12回開催 参加組数 473人(うち、2歳児 231人))

●「子育てママさん訪問事業」(養育支援訪問事業)の実施

- ・育児支援が必要な家庭に対し、保健師・助産師が継続して支援を実施

平成29年度実績 184件

(平成28年度実績 159件)

●おたふくかぜワクチンの任意接種費用の一部助成

- ・おたふくかぜのまん延防止の為、おたふくかぜワクチン任意接種を希望する1歳児に対し、接種費用の一部を助成

平成29年度実績 助成を利用した接種者数 766人

●「教えて！ドクター」(子ども疾病対応出前講座)の内容をまとめた冊子・アプリの活用

- ・主に0歳から2歳までの保護者を対象に講座を開催。病気に対する知識習得による不安解消と子育て力向上を図る

平成29年度実績 冊子・アプリの改訂(5,000部増刷)

●柳沢式運動あそびプログラムの実施

- ・巡回指導や全体会を開催。DVD等も使用し、運動あそびプログラムを取り入れた保育を実施

●「キッズキッチン」(食育講座)の開催

平成29年度実績 4回開催 延参加者数 66人

(平成28年度実績 4回開催 延参加者数 68人)

●「オールマイティ1年生事業」の実施

- ・全国の小学1年生を対象に、市内の体験・学習・文化・観光施設の無料パスを配布

*配布の状況

平成29年度実績 1,041冊

(平成28年度実績 1,009冊)

イ 未就学児の保育・教育環境の充実

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
「子育て支援・児童福祉」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	28.9	—	31.1	32.0	%	
	実績値	26.7	—	29.1	—				
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし				
	進捗状況の分析 障害児保育事業等の保育サービスをはじめ、子育て支援事業や児童館運営等の充実を図ってきたことにより、目安値に対し順調に推移しています。 ※H29実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。 ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります(以下同じ。)								
今後の方針		引き続きニーズに対応した保育の提供を推進します。							
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
「幼児教育」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	27.9	—	30.1	31.0	%	
	実績値	25.7	—	33.2	—				
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし				
	進捗状況の分析 信州型やまほいく認定制度による自然を生かした保育・教育環境の充実を図ったほか、第3子以降保育料の無料化や通園費補助等ニーズに応じたサービスの提供により、目安値に対し順調に推移しています。 ※H29実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。								
今後の方針		引き続きニーズに対応したサービスを推進します。							

主な成果	
<p>● 多様なニーズに対応した保育サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育や一時保育、障がい児保育、休日保育、病児・病後児保育等の保育サービスを展開 * 市内施設数 公立保育園15園、私立保育園9園、私立幼稚園6園 * 延長保育の利用状況（28園実施） <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度実績 延 16,297人 （平成28年度実績 延 15,853人） * 一時保育の利用状況（13園実施） <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度実績 延 4,686人 （平成28年度実績 延 4,993人） * 障がい児保育の対象児童数(私立) <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度実績 29人 （平成28年度実績 30人） * 広域入所事業の利用状況(受託) <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度実績 37人 （平成28年度実績 43人） 	
<p>● 私立保育園・幼稚園の運営費の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度実績 15園 （平成28年度実績 15園） 	
<p>● 通園に係る経費への補助の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最寄りの保育園まで4kmを超える園児の保護者に通園費を補助 * 対象児童数 <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度実績 53人 （平成28年度実績 38人） 	
<p>● ショートステイの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時的に児童の養育が困難になった場合に、原則7日間以内において児童養護施設での預かり支援を実施 平成29年度実績 2件 （平成28年度実績 1件） 	

ウ 子育て支援拠点の機能の充実

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
小学生低学年の児童館利用率 【子育て支援課調】	目安値		27.5	27.6	27.8	27.9	28.0	%	
	実績値	27.4	28.8	31.2	29.8				
	進捗区分		順調	順調	順調				
	進捗状況の分析								
H27に市内全ての小学校区に児童館が整備されたことや、共働き家庭の増加等の理由により、年々利用率が上昇しているものと考えられます。									
今後の方針									
子育て支援拠点の機能の一層の充実に努め、利用率の向上を図ります。									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
つどいの広場の利用者の満足度 【子育て支援課調】	目安値		50.0	55.0	60.0	65.0	70.0	%	
	実績値	—	50.0	59.1	69.2				
	進捗区分		順調	順調	順調				
	進捗状況の分析								
市内5か所での広場の開催が定着してきたものと考えられます。									
今後の方針									
引き続き幅広い周知により、利用者の増加および満足度の向上を図ります。									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
子ども未来館の来館者数 【子育て支援課調】	目安値		98,000	98,500	99,000	99,500	100,000	人/年	
	実績値	97,293	102,279	100,174	91,001				
	進捗区分		順調	順調	努力を要する				
	進捗状況の分析								
プラネタリウムのリニューアルにより約6か月間放映休止したことにより、来館者が減少したものと考えられます。									
今後の方針									
引き続き企画展示の充実やイベントの強化により、来館者数の増加を図ります。									

主な成果

● 児童館の運営の充実

＊ 来館者数合計

平成29年度実績 314,224名

(平成28年度実績 299,784名)

● 放課後児童クラブに対し運営費の補助

・就労等により保護者が昼間家庭にいない小学生児童に対し、放課後の居場所を提供

平成29年度実績 2箇所

(平成28年度実績 2箇所)

● 「子育てサロン」の開催

・就学前の親子の不安を解消するため、就学前児童と保護者等が気軽に集まることができる機会を各児童館で提供

市内児童館数 19館

平成29年度実績 292回開催

(平成28年度実績 306回開催)

● 「つどいの広場」の開催

・就学前親子の交流・遊びの場を提供

＊ 開催場所: サングリモ中込、協和保育園内、あさしな保育園内、佐久平イオンモール、うすだ健康活動サポートセンター

平成29年度実績 869回開催 延利用者数 26,085人

(平成28年度実績 869回開催 延利用者数 24,791人)

●子ども未来館の運営充実

- ・科学展示等のリニューアルに向け、検討委員会において平成29年度に展示リニューアル基本計画を策定
- ・プラネタリウムの改修を実施(H29.10～H30.3)、H30.3.21リニューアルオープン

エ 子育て支援情報の提供とサークル活動の活性化の支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	※市の子育て支援情報サイト(パパママフレ)へのアクセス数
子育て支援サイトへのアクセス数(計画期間の累計)	目安値		15,000	25,000	35,000	45,000	55,000	件	
	実績値	—	10,958	21,551	29,918				
	【子育て支援課調】	進捗区分		努力を要する	概ね順調	概ね順調			
進捗状況の分析	サイトの使い方を紹介したリーフレットの配布により、アクセス数は概ね順調に推移しています。								
今後の方針	アクセス方法や掲載内容の充実など魅力あるサイトの構築により子育て支援の充実を図ります。								
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
利用者支援事業の利用件数(計画期間の累計)	目安値		30	240	600	1,200	1,750	件	
	実績値	—	33	170	324				
	【子育て支援課調】	進捗区分		順調	努力を要する	努力を要する			
進捗状況の分析	利用件数の増加幅が少ない状況ですが、事業名称から事業内容が想定しづらく、利用促進が図られないことなどが考えられます。								
今後の方針	H30から事業名を「子育てなんでも相談室」と分かりやすい名称に変更するとともに、引き続き周知を行い、新規利用者の増加を図ります。								

主な成果

●既存の各種サービスの的確な利用を支援する利用者支援事業の実施

- ・教育・保育施設や各種子育て支援事業等の中から適切なものを選択し、円滑に利用できるよう、身近な場所において、子育てコーディネーターによる情報提供や相談助言等を実施
平成29年度実績 151件
(平成28年度実績 140件)

●子育て支援情報サイト「パパママフレ」の運営

- ・子育て情報をわかりやすく整理し、利用者が知りたいサービスが容易に検索できるサイトを官民共同事業により運営

●多胎児をもつ親の会「さくらんぼキッズ」への支援

- ・多胎児が心身ともに健やかに育つために、同じ悩みを持つ保護者の情報交換の場を提供
平成28年度・平成29年度実績 年3回開催

オ 様々な悩みを持つ家庭への支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
子ども特別対策推進員による家庭児童相談のうち関係機関と連携して対応した数の割合	目安値		20.0	21.0	22.0	23.0	25.0	%	
	実績値	19.9	20.2	21.1	12.5				
	【子育て支援課調】	進捗区分		順調	順調	努力を要する			
進捗状況の分析	軽微な相談内容であったり、何度か相談を重ねることで相談者自身の意欲向上や悩みの解消に繋がり、他機関との連携を必要としなかった相談が多かったことから、率は減少しています。なお、相談件数の増加や内容が多様化していますが、引き続き必要に応じて各機関と連携を取りながら対応しています。								
今後の方針	相談件数が増加傾向にありますが、必要に応じて学校や保健医療機関等の関係機関と連携を図り対応します。								

主な成果

●チャイルドライン支援事業の実施

- ・チャイルドラインを運営する団体へ補助金を交付
平成29年度実績 1件
(平成28年度実績 1件)

●子ども特別対策推進員・家庭児童相談員による相談支援事業の実施

- ・子どもに関する様々な相談について、関係機関と連携した相談業務を実施
平成29年度実績 相談実数232件 連携件数29件
(平成28年度実績 相談実数184件 連携件数39件)

●療育支援センターの運営による障がい児への療育・機能訓練および生活指導の実施

- *通園児の状況
平成29年度実績 利用登録者数 82人 延利用児童数 1,161人
(平成28年度実績 利用登録者数 110人 延利用児童数 1,375人)

●重症心身障がい児親子体験事業の実施

- ・夏休みに合わせて医療ケアが必要な重症心身障がい児のための日中活動スペースを期間限定で設け、関係機関の専門スタッフによるサポートを実施
平成29年度実績 H29.7.25～7.28(4日間)開催 預かった児童数 延24人
(平成28年度実績 H28.7.26～7.29(4日間)開催 預かった児童数 延15人)

●不登校児童生徒への支援の実施

- ・スクールメンタルアドバイザーによる教育相談、チャレンジ教室の開室や不登校等対策連絡協議会を開催
- *学校訪問件数
平成29年度実績 2,331件 学習:353件(15.1%)、家庭環境:325件(13.9%)、友だち関係:278件(11.9%)
(平成28年度実績 1,719件 家庭環境:250件(14.5%)、学習:199件(11.5%)、友だち関係:191件(11.1%))
- *チャレンジP-Smile(不登校の児童生徒の親の会)開催数 (チャレンジ教室において開催)
平成29年度実績 6回
(平成28年度実績 6回)
- *不登校等対策連絡協議会での取組
平成29年度実績 「子どもはみんなの宝」ポスター及びリーフレットの作成、配布
(平成28年度実績 「平成28年度 不登校等対策・取組への提言」を作成し、市内小中高等学校へ配布)

●就学支援委員会専門員による就学相談や就学支援委員会における適正な就学先の判断

- ・「夏期集中就学相談」等において保護者などから相談を受け、就学支援委員会でその子にとって最も望ましい就学先を判断
- *夏期集中就学相談件数 *就学支援委員会諮問件数
平成29年度実績 82件 平成29年度実績 136件
(平成28年度実績 81件) (平成28年度実績 130件)

カ 小中学校の教育環境の充実

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
「学校教育」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	32.0	—	34.0	35.0	%
	実績値	30.7	—	35.3	—			
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし			
進捗状況の分析	H30の目安値の達成に向け、学校教育のニーズを把握した施策を推進します。 ※H29実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。							
今後の方針	引き続き施策の推進により、更なる教育環境の充実を図ります。							

主な成果

●理科支援員の配置

- ・理科専科の教員が配置されていない小学校に理科支援員を配置し、充実した理科教育及び問題解決学習を実施
平成29年度実績 高瀬小学校、田口小学校、臼田小学校、浅科小学校 各1名配置
(平成28年度実績 高瀬小学校、田口小学校、臼田小学校、浅科小学校 各1名配置)

●学力向上加配職員の配置

- ・一人ひとりの児童生徒への指導がより深く、充実して行われるよう加配職員の教科性を生かし、学級担任とのチームティーチングを中心に指導
平成29年度実績 小学校8名、中学校5名配置
(平成28年度実績 小学校8名、中学校5名配置)

●外国籍児童生徒等の日本語の知識等の習得支援

- ・外国籍児童生徒等の日本語の知識等の習得のために日本語教室(浅科小学校)に日本語支援員を配置。また、日本語教室へのスクールタクシーを運行し、受け入れ態勢を整備
平成29年度実績 日本語支援員2名配置(市費1名、県費1名)
スクールタクシー利用者数 13名(在籍者数18名)
(平成28年度実績 日本語支援員2名配置(市費1名、県費1名)
スクールタクシー利用者数 11名(在籍者数18名))

(4) 仕事と生活の調和の実現

ア 希望するワーク・ライフ・バランスの実現の支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
「社員の子育て応援宣言！」登録企業数	目安値		—	54	60	66	72	社
	実績値	42	—	73	78			
【長野県労働雇用課調】	進捗区分		実績値なし	順調	順調			
進捗状況の分析	事業の周知により、「社員の子育て応援宣言！」登録企業数は順調に推移しています。							
今後の方針	引き続き、事業の周知に努めます。							

主な成果

●「社員の子育て応援宣言！」登録企業の紹介等による啓発

- ・平成29年度市内事業所98社へ制度周知・登録企業募集チラシを送付。市ホームページ掲載による周知を実施。

イ 女性の仕事と子育ての両立を支えるための意識の啓発

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
男女共同参画推進事業者表彰件数	目安値		5	5	5	5	5	件/年
	実績値	5	4	3	3			
【人権同和課調】	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する			
進捗状況の分析	意識啓発や表彰制度の周知に努めましたが、応募事業者は増加せず表彰件数は横ばいです。							
今後の方針	表彰制度のさらなる周知を図ることにより、男女がともに働きやすい職場づくりを引き続き推進します。							

主な成果

●子育て世代の女性に対する相談支援の実施(県実施事業)

- ・子育て世帯の女性に対し、就労に関する悩みや不安の軽減を図り、就労に向けての支援を実施
平成29年度実績 就労件数 60件
(平成28年度実績 就労件数 55件)

●男女共同参画の積極推進事業者の表彰

- ・男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる事業者の表彰を行い、模範的な取組を参考に男女ともに働きやすい職場づくりを推進
平成29年度 H30.2.9(金)佐久情報センターにおいて表彰式を実施

基本目標④ 安心して暮らし続けることができる佐久市における「まち」の創生

基本目標の考え方	市民が生活やライフスタイルの素晴らしさを実感し、生きがい豊かに安心して暮らしていくためには、それを支える「まち」が重要であるため、活力ある「まち」の創生に取り組みます。
-----------------	--

数値目標の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	77.0	—	79.0	80.0	%	
	実績値	75.1	—	78.7	—				
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし				
総合分析	<p>基本目標④の数値目標は、満足度・重要度市民アンケートに基づき設定しています。平成29年度はアンケートが隔年実施であり、実績値を把握することができないことから、「実績値なし」となります。</p> <p>「『佐久市は住みやすい』と回答する人の割合」は、平成28年度の実績を見ると順調に推移しており、施策と住みやすさの相関を見ると、「住みやすい」と回答した人の評価が高い施策として、「高速交通ネットワーク」「消防・救急」「医療」が上位を占めています。市の卓越性として、高速交通網の充実や医療福祉の充実、健康長寿などが挙げられますが、今後もこれらの強みや特徴を磨き上げ、十分に生かした施策を推進することが重要です。</p> <p>基本目標に係る重要業績評価指標(KPI)は、17項目のうち、「順調」が3項目、「概ね順調」が2項目、「努力を要する」が2項目となりました。</p>								
今後の方針	<p>KPI「健康寿命の延伸」は男女ともに前年度よりも延伸、目安値を上回る結果となりました。佐久市立国保浅間総合病院の整備と経営基盤強化、佐久総合病院本院施設等整備に対する支援、老人福祉施設の整備・運営など、医療・福祉の確かな体制の構築に向けた取組を着実に推進した結果と考えられます。平成30年度からは、歩行に着目した新たなライフステージに応じた健康づくり事業や健康の維持増進に資するセラピーロードの改修等を実施していきます。その他、佐久平駅南土地地区画整理事業への支援や防犯灯のLED化事業等の取組の推進により安心して暮らすことができるまちづくりを推進します。</p>								

(1) 持続可能な経済・生活圏の形成

ア 地域の特徴を生かした経済・生活の拠点の形成

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
「土地利用」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	16.2	—	18.7	20.0	%	
	実績値	13.7	—	17.2	—				
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし				
進捗状況の分析	<p>市の特性や、それぞれの地域の特徴を生かした土地利用が図られているため、満足度が上昇していると考えられます。</p> <p>※H29実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。</p>								
今後の方針	市を取り巻く様々な環境の変化を的確に捉え、今後も適切な土地利用を図ります。								

主な成果

- 臼田地区の地域交流拠点施設「佐久市臼田健康活動サポートセンター」の活用による健康長寿のまちづくり
 - ・チャレンジショップ、健康教室、つどいの広場等、小さなお子さんから高齢者まで安心して利用できる場所の提供
 - や、まちの賑わいづくりに資する事業を実施
 - 平成29年度実績 開館日数 292日 1日平均入館者数67名

●佐久市都市計画マスタープランの全面改定

・少子高齢化や人口減少など社会情勢の変化を踏まえ、機能集約型の都市構造を実現するとともに、本市の強みや特性を生かした都市づくりを推進するため、平成30年3月に佐久市都市計画マスタープランを全面改定

●佐久平駅南地区開発のための調査・支援の実施

・土地区画整理準備組合による佐久平駅南地区の土地区画整理事業に対し、技術的・財政的支援を実施
平成29年度実績 区域の農振除外及び都市計画決定。佐久平駅南土地区画整理組合の設立

イ 地域交通ネットワークの整備

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
「地域交通ネットワーク」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	34.7	—	34.9	35.0	%
	実績値	34.6	—	28.2	—			
	進捗区分		実績値なし	努力を要する	実績値なし			
進捗状況の分析	高速交通の発展に伴い、インター周辺や幹線道路及び生活道路整備に対する重要度及び要望が高い状況であることから、引き続き計画的な道路整備を実施しています。また、高齢化の進行から公共交通への依存度が高まり、利便性の向上が求められていることから、ニーズを踏まえた公共交通ネットワークを構築していく必要があります。 ※H29実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。							
今後の方針	引き続き計画的な道路の維持管理を進めるとともに、地域公共交通の見直しによる交通機関の利便性の向上と運行の効率化を図ることにより、安全・安心な地域交通ネットワークの構築を図ります。							
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
公共交通延べ利用者数 【生活環境課調】	目安値		107,418	111,814	116,209	120,605	125,000	人/年
	実績値	103,023	104,871	112,079	114,095			
	進捗区分		努力を要する	順調	概ね順調			
進捗状況の分析	市内巡回バス運行事業や廃止代替バス運行事業の推進や新公共交通体系の変更により、H29実績値は、H28より2,016人増加し、概ね順調に推移しています。							
今後の方針	引き続きバス運行事業やデマンドタクシー事業の周知・推進により、引き続き利用者数の増加を図ります。							

主な成果

●都市計画道路の整備

・市街地における安心・安全な生活環境の向上を図るため、都市計画道路の整備を実施
* 跡部臼田線 道路新設工事

●地域や施設を結ぶ幹線道路の整備

・幹線道路の整備により、安全・安心でスムーズな交通を確保
* 幹線道路拡幅改良事業
平成29年度実績 2箇所（市道65-7号線（中石堂・長者原））
（平成28年度実績 6箇所（創錬の森周辺道路ほか5箇所））
* 東西幹線の整備
* 歩道整備を伴う道路改良事業
平成29年度実績 3箇所（ ）
（平成28年度実績 3箇所（コスモホールアクセス道路ほか2箇所））

●佐久市地域公共交通網形成計画の推進

・平成29年3月に策定した、佐久市地域公共交通網形成計画に基づいて、平成29年10月から新公共交通体系に移行
* 高齢者の利用増進を図るため、日中にデマンド交通に移行、前年度より利用者の増加
* 北陸新幹線の接続や新たな交通接続点を設け、市内循環バスダイヤを策定、平成29年10月から運行

ウ 安心して暮らすことのできる保健・医療・福祉体制の構築

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
「医療」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	43.0	—	48.0	50.0	%	
	実績値	39.4	—	45.8	—				
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし				
	進捗状況の分析 市民の医療環境を充足するための施策を実施することで、市民満足度の向上が図られました。 ※H29実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。								
今後の方針 市民の医療ニーズの把握に努めるとともに、地域完結型医療体制の構築を促進します。									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
「高齢者福祉・介護保険」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	30.0	—	33.0	35.0	%	
	実績値	26.1	—	29.9	—				
	進捗区分		実績値なし	概ね順調	実績値なし				
	進捗状況の分析 介護予防事業を実施したことにより、要介護状態になることを防ぎ、また、要介護状態になってもその状態に応じた適正なサービスを提供し、高齢者の自立した生活と家族の負担の軽減を図りました。 ※H29実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。								
今後の方針 今後も引き続き事業を推進することにより、満足度の向上を図ります。									
指標名	年度別評価	H25 (基準値)	H26	H27	H28	H29	H30 (目標値)	単位	備考
健康寿命の延伸(男性) 【高齢者福祉課調】	目安値		(延伸)	延伸	延伸	延伸	延伸	歳	前後3年間で算定
	実績値	79.46	(79.89)	80.08	80.30	—			
	進捗区分		(順調)	順調	順調	未公表			
	進捗状況の分析 将来にわたり健康長寿であり続けるための事業を積極的に展開してきたことにより、実績値は順調に推移しています。 ※H29実績値は、H31.1月頃に把握が可能となるため、現時点では「未公表」となります。								
今後の方針 引き続き保健予防活動等の事業を実施することにより、健康寿命の延伸を図ります。									
指標名	年度別評価	H25 (基準値)	H26	H27	H28	H29	H30 (目標値)	単位	備考
健康寿命の延伸(女性) 【高齢者福祉課調】	目安値		(延伸)	延伸	延伸	延伸	延伸	歳	前後3年間で算定
	実績値	83.58	(84.32)	85.12	85.54	—			
	進捗区分		(順調)	順調	順調	未公表			
	進捗状況の分析 将来にわたり健康長寿であり続けるための事業を積極的に展開してきたことにより、実績値は順調に推移しています。 ※H29実績値は、H31.1月頃に把握が可能となるため、現時点では「未公表」となります。								
今後の方針 引き続き保健予防活動等の事業を実施することにより、健康寿命の延伸を図ります。									

主な成果

● 佐久市立国保浅間総合病院の整備と経営基盤強化

・地域の中核病院として充実した医療の提供と住民の満足度の向上を図るため、計画的な整備を実施

＊ 中央棟建設工事の状況

平成28年度実績 <2期工事>手術室、糖尿病センター、医局、講堂等の整備（H29年1月竣工、3月開院）

＊ 中央棟完成に伴う手術件数等の増加

平成29年度 手術件数実績 2,383件（平成28年度実績 2,356件）

平成29年度 糖尿病外来患者数実績 14,206人（平成28年度実績 12,563人）

＊ 医療機器等整備の状況

平成29年度実績 生理検査超音波診断装置 外60式・台

（平成28年度実績 中央手術室映像システム 外100式・台）

・浅間総合病院の医師の市内への住宅取得経費に対し貸付を実施

平成29年度実績 0件

(平成28年度実績 2件)

●レスパイトケアの実施

平成29年10月1日事業開始 平成29年度実績 利用者数3人 22日間

●過疎地における医療供給の安定化

・望月地域の中核的医療機関である川西赤十字病院と過疎地域の出張診療所への財政支援により、川西地域における医療供給の安定化を図る。

＊川西赤十字病院への財政支援（川西保健衛生施設組合を介し、運営費を補助）

＊布施出張診療所開設への財政支援

＊湯沢無医地区出張診療所開設への財政支援

●老人福祉施設の整備

・佐久市特別養護老人ホーム「シルバーランドみつい」「シルバーランドきしの」の老朽化等に伴う施設及び設備の改修を計画的に実施。平成29年度は「シルバーランドみつい」の空調設備等を改修

・社会福祉法人ジェイエー長野会が実施する、佐久広域連合から移管された施設（特別養護老人ホーム・養護老人ホーム うすだコスモ苑）の整備に対し、補助金の交付と地域総合整備資金の貸付けを実施

●佐久医療センターの救命救急等の医療運営に対する補助

・佐久医療圏の地域医療を安定的に確保するため、救命救急及び周産期医療の機能を担う佐久医療センターの運営に対する財政支援を実施することにより、佐久地域における高度・専門医療提供体制を確保

＊佐久医療センター運営への財政支援（佐久広域連合を介して補助）（H28～）

●地域包括ケアシステムの強化

・高齢者が住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けることができるよう、地域の自主性にに基づき、「住まい」「医療」「介護」「生活支援・介護予防」に係るサービスの包括的な確保を目指し、支え合いの仕組みづくりを推進

エ 広域的な連携の推進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
「広域連携」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	17.9	—	19.3	20.0	%
	実績値	16.5	—	24.9	—			
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし			
進捗状況の分析	広域連合や一部事務組合による事務の共同処理に取り組みほか、佐久地域定住自立圏構成市町村間の連携強化を図るなど市町村連携を強力に進めています。 ※H29実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。							
今後の方針	今後も人口減少社会の下で、市町村間の役割分担や連携がこれまで以上に重要になることから、引き続き他の市町村との協力・連携を進め、満足度の維持を図ります。							

主な成果

●佐久地域定住自立圏における連携強化

・将来にわたり安心して暮らすことができる佐久地域を目指すため、第二次佐久地域定住自立圏共生ビジョンに基づき、12分野21項目における各種施策を関係市町村と連携・協力し推進

●新クリーンセンター整備の推進

・将来にわたり佐久地域の安全・安定・安心なごみ処理体制を維持するため、佐久市・軽井沢町・立科町・御代田町の1市3町で構成される佐久市・北佐久郡環境施設組合により、平成32年11月末の完成を目指し工事を実施

(2) 人口減少を踏まえた既存ストックのマネジメント強化

ア 公共施設等の適正管理と有効活用

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
「公共施設」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	20.0	—	20.0	20.0	%	
	実績値	15.9	—	20.3	—				
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし				
進捗状況の分析	平成25年度以降、「公共施設マネジメント基本方針」を策定し、他市に先んじて公共施設の適正管理に取り組んできたことから、平成28年度は目安値を越える実績値となり、一定程度の進捗が図られたと捉えています。今後、複合化など目に見える形での適正化とともに、管理運営の効率化などの地道な適正化に絶え間なく取り組んでいくことで市民の満足度の向上を図る必要があります。 ※H29実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。								
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> 「公共施設等総合管理計画」に基づき、適正管理に資する取組を推進し、掲げた目標の達成を目指します。なお、5年程度で公共施設等の現状把握を行い、その結果から、進捗状況を検証しつつ、方針等を見直して、適正化の推進に努めます。 各施設所管課による「個別施設計画」の策定が順調に進むよう、情報提供及び作成支援を行います。 適正化に関するプロジェクトについて、施設所管課による市民との合意形成への支援や、他課との調整等を行います。 以上の取組により、更なる満足度の向上を図ります。								

主な成果

- 公共施設等の総合的なマネジメントの推進
 - ・公共施設等の適正化を推進するため、個別施設計画に関しての職員向け研修を開催

イ 空き家等の利活用

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	備考
サテライトオフィス設置支援事業による事業所の立地件数(計画期間の累計) 【商工振興課調】	目安値		1	2	3	4	5	件	※再掲
	実績値	—	0	0	0				
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する				
進捗状況の分析	サテライトオフィス設置可能な空きオフィスがあるものの、企業側が考える業務体制や導入コストの費用対効果が割に合わない等の理由から、誘致に結びつかない状況です。								
今後の方針	遠隔勤務について比較的可能性が高い情報サービス業への積極的な企業誘致を行うことにより、サテライトオフィスの設置へつなげます。								
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	備考
空き家バンク登録物件の契約成立件数 【観光交流推進課調】	目安値		50	55	60	60	60	件/年	※再掲
	実績値	45	75	70	39				
	進捗区分		順調	順調	努力を要する				
進捗状況の分析	掲載物件が減少しているため、空き家バンクの成約数が伸び悩んでおり、優良物件の確保が必要です。								
今後の方針	無居住家屋実態調査結果を踏まえ、利便性の高い優良物件の洗い出しを行い、登録物件の増加を図ります。								

主な成果

- 無居住家屋等実態調査の実施
 - ・増加する空き家等の対策を推進するため、現地調査及び意向調査を実施
 - ※ 市内推定空き家数 3,129軒 世帯数に対する空き家数の割合 7.6% (H30.1.11現在)

(3) 住民が地域防災・防犯の担い手となる環境の確保

ア ICT等を活用した災害対策の推進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
一斉通報・連絡システムの登録者数 【広報情報課調】 ※H27開設	目安値		600	1,200	1,800	2,400	3,000	人
	実績値	—	2,190	2,336	2,780			
	進捗区分		順調	順調	順調			
進捗状況の分析	システム開設時からの積極的な周知により、目安値を上回る登録者を得ることができましたが、平成29年度は微増に留まりました。							
今後の方針	引き続きシステムの周知を行うとともに、特にアプリ登録者の増加促進を図ります。							

主な成果

● 佐久市情報配信サービス「さくネット」の運用

・防災・気象情報、防犯情報等の市民が希望する情報を、固定電話、携帯電話、パソコンメール、携帯メール、FAXの中から、受信者が希望する媒体で、一斉配信を行う。(平成27年度から開始)

● 公共無線LAN(Wi-Fi)環境の整備

・市役所本庁舎や佐久総合運動公園などの23の公共施設に、31AP(アクセスポイント)を整備

イ 自主的な防災・消防活動への支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
自主防災組織数 【危機管理課調】	目安値		235	235	235	235	237	組織
	実績値	235	235	235	235			
	進捗区分		順調	順調	順調			
進捗状況の分析	自主防災組織の組織化は区長会理事会、区長会総会等で推進しており、現状維持となりました。							
今後の方針	人口減少が進む中において安定して機能する防災体制の運用のために、今後も区長会理事会、区長会総会等への呼びかけにより維持増加に努めます。							

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
消防団員の充足率 【危機管理課調】 ※条例定数に対する充足率	目安値		97.6	98.3	99.0	99.7	100.0	%
	実績値	96.9	98.0	98.3	99.6			
	進捗区分		順調	順調	順調			
進捗状況の分析	機能別団員制度の創設や団幹部と情報共有を図り、未加入者に対し勧誘を行ったことにより、団員数の減少に歯止めがかかり、目標に向け順調に推移しています。							
今後の方針	引き続き未加入者等に積極的な呼びかけを行い、条例定数の確保に努めます。							

主な成果

● 地域における減災・防災に係る取組の促進

* 防災訓練を実施した自主防災組織数

平成29年度実績 151組織

(平成28年度実績 158組織)

● 消防団員の確保

・イベントにおける募集チラシの配布等の呼びかけにより、地域の防災力確保の要である消防団員の確保を推進

＊消防団員実員数

平成29年度実績 1,835人
(平成28年度実績 1,810人)

●消防団の装備品の充実

・「消防団の装備の基準(H26.2.7改正)」に基づき、安全装備品や救助活動用資機材等の配備を充実し、災害時における消防団の対応力を強化

＊配備実績

平成27～29年度実績 救助用半長靴、耐切創製手袋、背負式消火水嚢、チェーンソー、防塵メガネ、防塵マスク、防寒衣(平成27～29年度の3ヵ年で全分団及び全団員に配備を実施)

●消防団施設の整備

・老朽化した小型動力ポンプ付積載車等の配備を計画的に実施

＊整備実績

平成29年度実績 小型動力ポンプ付積載車 2台(上平尾、御牧原(浅科))
小型動力ポンプ 5台(下宿・荒田、太田部、式部、長者原、協東)
(平成28年度実績 小型動力ポンプ付積載車 3台(長土呂、臼田住吉、堀端)
小型動力ポンプ 5台(黒田、牧布施、向反、天神、大谷地))

ウ 防犯対策の推進

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	— (基準値)	H30	H31 (目標値)	単位
防犯灯のLED化率 【総務課調】	目安値	/	100	100	%
	実績値	—			
	進捗区分	/			
進捗状況の分析	平成30年度から開始する事業です。 平成29年度は、実施に向けて他市の導入実績状況調査等を行いました。				
今後の方針	平成30年度中に市内防犯灯全灯調査とLED照明灯以外の防犯灯について全てLED灯に切り換えます。				

(4) ふるさとづくりの推進

ア ふるさとと世界を知る子どもの育成

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
青少年育成活動件数 (計画期間の累計) 【生涯学習課調】 ※H26実績:5,306件/年	目安値	/	5,500	11,000	16,500	22,000	27,500	件
	実績値	—	5,372	10,398	15,404			
	進捗区分	/	概ね順調	概ね順調	概ね順調			
進捗状況の分析	児童数は減少傾向ですが、平成29年度の実績値はほぼ同数で、概ね順調に推移しています。							
今後の方針	目標値の達成に向け、地区における青少年健全育成活動について更なる活発化を図るため、育成推進員研修会の開催及び補助金の周知など積極的に支援を行います。							

主な成果

●地区育成活動の推進

・地域の特性を生かした地域ぐるみの青少年健全育成事業を実施している各地区育成会に対し、補助金を交付

＊地域体験活動補助金

平成29年度実績 153件

(平成28年度実績 138件)

●学校給食応援団～地産地消と食育を推進～

・佐久、臼田、浅科、望月の各地域において、学校給食応援団の活動により地産地消と食育を推進

●青少年の人材育成のための国際交流の実施

・佐久市内の中学生を対象とした海外研修や、友好都市の子どもたちの受入を実施

*中学生海外研修

平成29年度実績 エストニア共和国 8人 モンゴル国 8人

(平成28年度実績 アメリカ合衆国 8人 モンゴル国 8人)

*子ども交流研修 受入実績

平成29年度実績 エストニア共和国サク市から8人、モンゴル国スフバートル区から8人

(平成28年度実績 エストニア共和国サク市から7人)

イ 生涯学習環境の整備と活動の促進

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
「生涯学習」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	32.7	—	35.0	36.0	%
	実績値	30.3	—	35.4	—			
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし			
進捗状況の分析	H30の目安値の達成に向け、引き続き様々な年代に対応した学習機会を提供します。 ※H29実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。							
今後の方針	時間に余裕のある世代だけでなく、仕事等で忙しい若い世代も取り込めるような事業を推進します。							

主な成果

●高齢者大学・大学院の開催

・65歳以上の方が生きがいを見つけたり、仲間づくりができる機会を提供

*活動の状況

《高齢者大学》平成29年度実績 18回開催 延参加者数 2,875人

(平成28年度実績 18回開催 延参加者数 2,722人)

《高齢者大学大学院》平成29年度実績 13回開催 延参加者数 190人

(平成28年度実績 12回開催 延参加者数 226人)

●佐久市文化振興基金の運用益による文化振興事業の実施

・文化振興基金の運用益を活用した「キッズ・サーキット」を開催し、若い親子世代が楽しみながら学べる機会を提供

平成29年度実績 H29.8.4～8.6(3日間) 19演目 延来場者数 5,612人

(平成28年度実績 H28.8.5～8.7(3日間) 22演目 延来場者数 4,879人)

●図書館サービスの充実と読書活動の推進

*読書通帳の発行数

平成29年度実績 1,246冊

(平成28年度実績 1,191冊)

*「ちいさい子のおはなし会」の充実

平成29年度から臼田において隔月開催

*セカンドブック事業の開始(H29.8～)

*インターネット予約サービスの開始(H27.11～)

平成29年度末までの登録者数 666名

*移動図書館(草笛号)の更新

*移動図書館(草笛号)のステーション増設

臼田(うすだ健康館)に1か所増設 (H30.1～)

平成29年度 地方創生関係交付金事業の実施結果

地方創生推進交付金（1/2）活用事業

ア 交流と協働で織りなす夢をかなえるまちコンパクトシティ臼田とCCRC事業の構築

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別評価	H27 (基準値)	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	備考
移住促進センターにおける相談者のうち佐久市への移住者数	目安値	/	200	200	200	40	件	・平成31年度中の住まい整備が完了するまで(平成28～30年度)は、移住相談件数を目標値として設定 ・平成31年度は移住者数(サ高住への入居決定者数)を目標値として設定
	実績値	0	155	100				
	進捗区分	/	努力を要する	努力を要する				
	年度別評価	H27 (基準値)	H28	H29	H30	H31 (目標値)		
サ高住等における新たな雇用者数	目安値	/	0	0	0	15	世帯	サ高住は平成31年度開所予定
	実績値	0	0	0				
	進捗区分	/	実績値なし	実績値なし				
	年度別評価	H27 (基準値)	H28	H29	H30	H31 (目標値)		
公共施設の活用件数	目安値	/	0	0	0	1	人	サ高住は平成31年度開所予定
	実績値	0	0	0				
	進捗区分	/	実績値なし	実績値なし				
	年度別評価	H27 (基準値)	H28	H29	H30	H31 (目標値)		
進捗状況の分析	市、移住促進センター双方における施設のPRが不足していたことが考えられます。							
今後の方針	引き続き、市、移住促進センター双方においてPRに努めるとともに、イベント等の開催を通じ達成に努めます。 なお、当該事業に係る目標は当初、平成30年度を最終年度として設定していましたが、事業の進捗状況によりサ高住の開業がH31にずれ込む見込みとなったことから、平成30年度までの目標は平成29年度と同様の移住相談件数(200件)とし、平成31年度の目標を移住者数(40人)へ変更しました。							

イ ジャパンブランド「健康長寿」推進事業 ～"SAKU Health-care model"の構築・展開を目指して～

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別評価	H27 (基準値)	H28	H29	H30	H31	H32 (目標値)	単位	備考
保健医療のシステムやヘルスケア関連機器等の海外輸出につながった件数	目安値	/	0	2	4	7	10	件	
	実績値	0	0	0					
	進捗区分	/	実績値なし	努力を要する					
	年度別評価	H27 (基準値)	H28	H29	H30	H31	H32 (目標値)		
「健康長寿」に関連した新たな事業(創業、新規事業、新製品・新技術の開発、新規立地等)創出件数	目安値	/	0	2	5	10	20	件	
	実績値	0	3	6					
	進捗区分	/	順調	順調					
	年度別評価	H27 (基準値)	H28	H29	H30	H31	H32 (目標値)		
進捗状況の分析	平成28年度に佐久市健康長寿産業振興ビジョン及び佐久市健康長寿まちづくり計画を策定し、ヘルスケア関連産業や「健康長寿」を生かした新たな事業等の創出・拡大に努めているところです。また、平成30年3月末には、ヘルスケア関連産業を始めとした地域産業における新製品・新技術の研究開発や創業の支援を行う「佐久産業支援センター」を立ち上げました。新たに海外輸出へつながった事例はまだありませんが、平成29年度は、創業が2件、新事業への参入が1件あり、「健康長寿」という強みや市の取組が市内企業等に着実に浸透しているものと考えられます。								
今後の方針	H29年度3月末に立ち上げた「佐久産業支援センター」において新製品・新技術の開発、販路拡大等を支援することにより、ヘルスケア関連機器等の海外輸出及び「健康長寿」に関連した新たな事業創出件数の増加に努めます。								